夕刊
滿洲日報
九月二十九日

上海臨時法院の改組會議に列國は贊同

日本も參加して南京で開く

領事裁判權回收の前提

【南京廿八日發電】領事裁判權回收の前提たる上海臨時法院組織改正に關する支那側の照會に對し本日北平公使團首席オランダ公使から各國が代表を派遣し協議するに贊成なる旨外交部に回答し來つたので外交部では會議を開く準備に着手した、支那は從來本問題から日本を除外してゐたが會審衙門を臨時法院に改める時該協定に日本も調印してゐる關係から日本を參加せしめる事となり一兩日中に外交部から日本以下の關係九ケ國に照會を發することゝなつた、會議召集の地點は南京に決定してゐる

交涉署廢止の過渡辦法に抗議

近く外交團から

【上海二十八日發電】外交部が支那各地の一般交涉署を八月末に、特派交涉署を年末迄に廢止に決し過渡辦法九ケ條を發布せるは既報の通りであるが、支那側の意圖は交涉署廢止により事實上の治外法權一部撤廢を列國の承諾に先達て實行せんとするカムフラージである、即ち該辦法は交涉署撤廢後における外人關係の案件は法律で制限するものを除き支那人同樣に處理する、第六條交涉署撤廢後未だ完了せざる外支人の訴訟案件は各省の特派交涉署に引繼特派交涉署撤廢後は一律に相當の法院に移して處理せしむと規定し居り、右二項が各國の條約上の正當な權利に抵觸するは明白にして上海領事團の意見之に一致し公使團に報告し公使團から近く正式に外交部に抗議する筈である

田中政友會總裁今朝急病にて逝く

(東京二十九日發電至急報)田中政友會總裁は今朝五時半狹心症のため突如逝去した(號外再錄、寫眞は逝ける田中前首相)

田中邸弔問客で混雜

【東京二十九日發電】政友會總裁田中義一男は昨夜紅葉館に前政友系知事の浪人組五十餘名を招待し十時頃歸宅就寢したが持病の心臟狹心症が起り遂に二十九日午前五時半青山の私邸にて逝去した、享年六十七歲、同邸では朝來政友會幹部其の他朝野の弔問客に混雜してゐる

三回目の發作

【東京二十九日發電】田中政友會總裁の急變は全く狹心症に依る心臟痲痺であるが、田中男の狹心症發作は今回で三回目であり昨年御大典の折京都で發作を起した時醫者から此の次發作があれば今度は遺言をする暇もあるまいと危險を注意されてゐたものである、其の後絶えて發作なく油斷して昨夜紅葉館にて大杯を擧げた爲め此の急變を見たものらしい

死因に疑點はない

宇垣陸相語る

【東京廿九日發電】田中男の逝去につき宇垣陸相語る
いや眞に何と申上げて良いか判らぬ、今朝自分に知らせがあつたので直ちに青山の本邸に驅付けて悔みを述べてから歸りに永田町官邸に濱口首相と相談した譯である、世間では死因に就て奇妙な噂もあるが自分が實際見た處に依れば決してそんな模樣はない

故總裁の敍位奏請

【東京廿九日發電】田中政友會總裁今朝五時半急變の旨山口義一氏官邸に出頭鈴木書記官長に屆出でたるを以て、濱口首相は正午宮中の御都合を奉伺し參內の上田中總裁逝去の旨上奏し且つ左の如く敍位の御裁可あらせられ度き旨を上奏した

從二位勳一等功三級　陸軍大將　田中義一
敍正二位授旭日桐花大綬章

心臟痲痺を起して急死

醫者は間に合はぬ

【東京二十九日發電】田中政友會總裁は昨夜紅葉館の浪人組知事招待後更に福井樓に赴き同會幹部連二十人程と宴會をなし田中總裁は非常に元氣で大いに杯を擧げ現下の政局に對し自己の抱懷せる意見を漫々と述べ自分は此のため辭職するようなことはせぬと氣焰を擧げ近頃珍しい上機嫌で歸つたのであるが、午後十一時過ぎ青山の自邸に歸り寢につき今朝五時前まで異狀なく家人も熟睡してゐるものと思つたところ、午前五時頃に「ウン」と苦悶の叫びを發したので家人が驅け附けたところもう息がなかつた、田中氏は持病の狹心症があり昨年大禮の時京都にても此の病氣を起した、今朝も狹心症から心臟痲痺を起し急死したものである、家人は非常に狼狽直に眞野軍醫正を招き同醫師は午前六時頃驅け附けたが其の時は既にこと切れて如何ともなし得なかつた

政友會幹部の緊急會議

犬養高橋兩長老中から暫定的總裁推戴か

【東京二十九日發電】田中政友會總裁突然の逝去につき政友會では本日正午より高橋是清氏邸に緊急幹部會を開き善後策協議をしてゐるが取り敢ず暫定的總裁として犬養、高橋兩長老の中より何れかを總裁に推戴する事となるであらうと見られてゐる

露國公使外相訪問

【東京二十九日發電】駐日露國大使トラヤノフスキー氏は二十九日午後三時半外務省に幣原外相を訪ひ、最近のポグラニチナヤ國境附近に於ける白系露人支那便衣隊の侵犯掠奪事件に關して報告し、外相より最近の情報を聽取し五時辭去した

軍縮に關する陸海軍の巨頭會議

三十日海相官邸で開催

【東京二十九日發電】軍縮問題に關する陸海軍巨頭會議は來る三十日午前十時から海相官邸に開催、陸軍は上原元帥、鈴木參謀總長、奈良侍從武官長、白川、井上、金谷、田中、鈴木各軍事參議官、海軍側、東郷元帥、財部海相、加藤軍令部長、岡田、竹下、安保各海軍々事參議官參集し左近司中將より一昨年のゼネバ會議以來の軍縮問題の經過より最近の英米內交涉に亘り詳細な報告を爲したる後陸[illegible]

來滿せる太平洋會議出席者

滿鐵情報課の招聘により二十八日安奉線經由着奉・向つて右より那須博士・カーター氏・菱田氏・グリーン氏(團長)・ジヨセフチヤンパーレン氏・キルパトリツク氏(奉天驛にて)

日曜閑話

孔子教と支那の統制

漢民族の文明を何と觀る

孔子が魯の國、今の山東に現はれ仁を說いた當時の支那の社會狀態といふものは、今日以上に支離滅裂、混沌暗黑のものであつた。孔子は、その亂雜なる社會に、一種の統制を與ふべく仁を說いたのである。がなかなか說教ぐらゐでは、容易に統制さるべくもなく、それ以來といへども、支那の社會は却つて動搖また動搖を續けて今日に至つたのである。されば孔子敎といふものも、これを研究して行くと、春秋戰國の混亂時代の反映として、かくの如きものが發生したのであつて、老人の如き南方思想の人は、早くも一種のアキラメを以て、やゝ混沌時代を嘲笑的に觀察して居つたのである。が孔子は生眞面目であつた。ヒヤカシ半分で、その混亂時代を高踏的に冷眼視することは、彼の堪ふるところではなかつたのである。

×

それもその筈である。五千年の昔、中央アジヤから移動して來た民族が、黃河の上流沿岸に定住し、それがだんだん東下して、一種獨特の漢民族文明といふものを構成するに至つたのであるが、その間に二、三千年の永い間、混沌たる社會組織のうちに努力せねばならなかつた。而して、ともかくも漢民族の文明といふものを創造構成したのであつた。何百年、何千年の永い歷史を經過して、ともかくも黃河の上流から、下流に文明の移動はあつたけれども、混沌たる社會は依然として組織なく、統制がなかつた。これに統制を與へ、秩序を示さんとしたのが孔子および彼の一黨であつた。

×

文明といふものは、必ずしも生存に容易な熱帶地方の如きところに起らない。却つて四圍の環境と奮鬪努力せねばならぬところに勃興する。支那にありても、南方の開けたのは早くも唐以後、極端にいへば元、明以來のことである。福建、廣東の如き、相當に古き歷史を有するにせよ、局部的の開け方であつて、長江以南が支那の歷史上に重要な位置を占むることになつたのは、極めて最近のことゝいへる。支那の北方人は、南方人のやうに、悟つたやうな顏をして高踏的に悠々たることは出來ぬのである。何は兎もあれ、生存せねばならぬのである。生存するがためには、四圍の實情よりして、衣食住のために奮鬪努力せねばならぬのである。生存の資料は、あらん限りの努力によるにあらざれば、これを把握することが出來ぬといふのが、すくなくとも中央アジヤから出て來た漢民族の境遇であつた。

×

この生存への努力、それは南方人のやうに獨善主義で高踏悠々たるを許さぬのである。個々の力を集合し、その集合力によつて四環と戰つて行かねばならなかつたのである。東夷西戎北狄南蠻といふのは必ずしも漢民族を取り圍んだ外敵を指したばかりでなく、精神的には、かくの如き蠻夷は常に漢民族を脚下から脅威しつゝあつたものともいへる。そこで一家は一家、一落は一落、一城は一城、一都は一都といふ風に社會の統制によつて、漢民族の生存、漢文明の保護といふものが達成せられねばならなかつたものである。論語のいはゆる仁義禮智信なるものは、かくの如き社會統制に對應するために、缺くべからざる機構として唱道せられたのであつて、勿論、宗敎でもなく、倫理道德といはんよりも、一種の社會政策、社會施設といふ程度のものであつたともいへ得る。

×

孔子敎なるものは、かくの如き社會的要求に順應すべく生れたものであつて、社會の統制を强要するが爲めに、相當に拘束を必要とし、また從つて形式に流れることあるも否定することは出來ぬ。その後、年代の隆替あり社會にもまた變遷あり、孔子の敎に形式の外廓のみが殘り、內容の全く認められぬといふ[illegible]になつたが、支那の社會[illegible]日に至るもなほ混沌と[illegible]られずにある。辛亥革命[illegible]滅滿興漢は唱道されたが、[illegible]如き、漢民族文明保護[illegible]として孔子が仁を唱道[illegible]には留意することなく、[illegible]來の社會統制を期せん[illegible]民族文明の精神的要求[illegible]形式の打破にのみ腐心[illegible]孔子敎の毀却を敢てす[illegible]破壞あるのみを以て、[illegible]何たるかを知らぬもの[illegible]ばならぬ。濟といひ、[illegible]あるひは蔣、張と內亂[illegible]ないが、彼らに支那社[illegible]秩序の保持に、換言す[illegible]以來、培養し來つた漢[illegible]建設更生を理想も、[illegible]は、支那民族のために[illegible]のことといはねばなら[illegible](記者)

支那公使外相訪問

【東京二十九日發電】駐日支那公使汪榮寶氏は二十九日午後五時幣原外相を外務省に訪問、過般の孫文移靈祭に芳澤前公使が日本代表として參列せるに對し御禮言上のため近く參內するにつき打ち合せをなしたる後、露支紛爭につき情報交換午後五時半辭去した

英首相米國に出發

【サザンプトン廿八日發電】昨夜ロンドン市民の熱狂的歡呼に送られた英國首相マクドナルド氏は昨夜當港碇泊中のベレンガリヤ號船中に入り靜かに一夜を明かし今朝九時二十分當港出發米國に向つた

軍縮會議の招請狀來らず

外務省で對策を協議

【東京二十九日發電】待たれた軍縮會議招請狀もマクドナルド首相渡米前に發せられ遲くも二十八日中には我外務省當局に手交されるものと期待されてゐたが遂に發せられなかつた模樣で、從つて招請狀發送遲延は公式會議其のものを遲延せしむる結果となるので外務省では幣原外相、吉田次官、亞細亞局長、條約局長等外務首腦二十八日午後三時より六時迄外務省第一會議室に於て之が對策につき審議する處あつた

海軍巨頭會議首協議し帝國の對策を根本的に研究する豫定である

總商會が日貨輸入を禁止

長沙で十一月初から

【北平廿八日發電】長沙來電に依れば同地總商會は國貨提唱の名の下に十一月一日より日貨輸入を禁止し同日迄に登錄せざる日貨の販賣を嚴禁する旨を決議した、從來の日貨排斥は民衆團體に依つて行はれたが資本家團體を主とする排貨運動は之を以て嚆矢とする

兒玉政務總監

[illegible]電二十九日發】博覽會台臨の宮殿下御迎のため本日午[illegible]列車にて釜山に赴き一泊[illegible]に扈從して三十日午後七[illegible]豫定

國民政府から二箇師出動

形勢惡化せる廣東へ

【南京二十八日發電】國民政府は廣東の形勢惡化に對し第八師朱紹良軍派遣に決し昨日來續々浦口に着本日から乘船を開始した、第三師毛炳文軍と前後して今明日中に當地發廣東に向ふ筈で蔣介石氏は廣東を以て改組派の根據地と見做し徹底的に同地を固める肚らしい

人事

▲松井兵三郎氏(第十六師團長陸軍中將)師團長會議の[illegible]中の處二十九日ハルビン[illegible]歸任
▲山內靜夫氏(築城本部[illegible]將)同上來連
▲佐藤佳氏(築城本部員)同上
▲古澤丈作氏(日清製油[illegible])上歸連
▲加藤恭平氏(三菱商事[illegible]役)同上來連
▲橋本戊子郎氏(滿鐵東[illegible]計課長)同上

天氣豫報

三十日　北西の風晴れ[illegible]
日出　五、四七　日沒　[illegible]
滿潮　前　八、〇〇　後　[illegible]
干潮　前　一、〇〇　後　[illegible]

若人の血は躍る
秋晴に響く應援歌
けふ大連運動場で催された中等校陸上競技會

第三回州內男子中等學校聯合陸上競技大會は[illegible]秋晴れのけふ大連運動場に於て擧行された、午前九時參加各校の選手[illegible]

◇八百米決勝 一等奥井(大二)二分十一秒六、二等宮前(大一)、三等[illegible]

◇四百米決勝 [illegible]

◇砲丸投決勝 一等白石(大商)十一米九四、二等白石(旅一)十一米八五、三等石丸(大一)十一米三六

◇走巾跳決勝 一等寺井(大二)六米五一、二等淺川(大一)六米三七、三等近藤(大二)五米八三

◇圓盤投決勝 一等白石(旅一)三四米五一、二等山口(大二)三二米三[いい]、三等白水(大商)三一米二九

お辨當持ちで 校庭の賑ひ
朝來の好晴に惠まれた 各小學校の運動會

吹く風も快よいけふ、秋の運動會は市內各所で催された小さな應援[illegible]たまして大きく秋空へとよけ[illegible]く、けふこそ惠まれた日、[illegible]よく少年少女の躍るところ[illegible]大廣場、春日、嶺前、聖德[illegible]小學校と土佐町公學堂である[illegible]た、お父さん、お母さん、姉さん達がお辨當をもつて應援と見物に出かけ何處もこゝも大賑はひであつた

餘興が呼び物 工場の運動會

滿鐵沙河口工場では廿九日午前十時より沙河口グラウンドにおいて秋季運動會を開催したが、好天氣にめぐまれ呼物の假裝行列その他の餘興に大賑はひを呈した

工大の運動會

旅順工科大學運動會第十四回陸上運動會は廿九日午前八時廿分から

斬新奇拔な演し物と 艶麗絢爛な舞臺美
來る二日から天勝一座を迎へ 讀者慰安の觀劇會

朝鮮博覽會に特別出演する松旭齋天勝一座を迎へ來る十月二日より本社後援の下に市內歌舞伎座に於て一週間讀者慰安觀劇會を催すことになつたが、一行男女優七十餘名は來る二日入港のうらる丸で華々しく乘込み本年最初の試みとして娘子軍三十餘名は今回特に新調した

純日本服 の揃ひの衣裳で直ちにきらびやかな行列を作つて町廻りをなし同夜から開演する、一座の演し物は「子供の國」として少年少女達を喜ばす少女達の可愛いダンスのトーイヨップ、お伽噺劇正直ショウチヤン及び小奇術があり天勝は久方振で振袖姿の大島田といふ大時代の妖艶な扮裝で純日本式大小奇術を演じジャズの深川踊を配して斬新奇拔な趣向を見せてゐる、また

呼び物の 新舞踊「五節舞」は「榮え行く君ケ代」といふ三部曲の御大典記念舞樂で五節舞の絢爛な舞臺から鳳凰のダンス、菊花新艶の文化踊りまで前後五景の レヴユウ式演出による華やかな天勝一代の演し物である、その他澤モリノ杉寛等の出演する寸劇舞踊ジャズダンス等、音樂に舞踊に觸れた艶麗と何れも時代の先端に大小奇魔術と何れも時代の先端に觸れた艶麗絢爛な舞臺美を誇るもの許りである、本社は秋の一夜を

一家揃つ て樂むのに適はしいものとして未だ嘗て滿洲に於て觀劇興行をした前例のない天勝一座を後援して特に讀者慰安觀劇會を催し社告の如く入場料を割引することになり素晴らしい前景氣を煽り秋の演劇シーズンを飾らんとしてゐる(寫眞は五節舞)

恩維銘一座 けふ來連
一日から開演

中日文化協會の招聘で來る一日から協和會館に出演する支那劇の名女優恩曉峰、恩維銘、品艶琴の一座は二十九日入港の長沙丸で來連した、尙會券は三圓と二圓の二種で中日文化協會を初め市內各書店

全國教育者 大會開催
今日京城で

【京城特電二十九日發】全國教育者大會第一日本日午前九時より京城師範學校に於て開會、宣言案諮問案の審議を行つた、第二日は午前九時より各部會開催、第三日も同樣各部會議、第四日は午前十時三十分より京城師範學校に於て總會開會議事を終了して閉會式を行ふ豫定である、出席者は內地、臺灣、樺太、南滿洲、青島等より六百餘名、朝鮮より千三百六十六名十月一日午後一時より京城グラウンドに於て體育デーを催し午後三時からは奬忠壇公園に於て大園遊會を開催する

旅順グラウンドで開催され長谷理事長開會を宣し次いで井上會長の訓示あり優勝旗返還式後職員學生一同合同體操を行ひ競技に移り秋晴れに觀衆多く大賑はひであつた

列車砲の 試射を見た
松井師團長談

師團長會議のため上京中であつた第十六師團長松井兵三郎氏は二十九日午前十時入港のハルビン丸で歸任左の如く語つた

今回の會議は臨時的のもので例年は三月に於て開かれる、十八日から二十一日四日間現內閣の政策並に宇垣陸相の抱負等の說明に次いで諮問等があつたが、最後の一日は列車砲の試射を千葉縣富津に見に行つた、一發五千圓位懸るものらしく二發發射したものだ、歸途京都にて留守軍の狀態を見、直ちに歸つたような次第で特別に注目に値する程の會議事項はなかつた

米國觀光團の 元締め一行
ヒ氏等十名けふ來連

日本は風光を誇り乍らも、外人を一招くすべを知らず、スキツツルが一年に二百萬人、フランスが百八十萬人、ドイツが百三十萬人、イタリーが百二十萬人と云つた漫遊客を呼んでゐるのに對して日本は僅か三萬人と云ふ外國のお客さんしか來てゐない、そこでまづ弗の國アメリカ、毎年世界漫遊客の約九割を國外に出すアメリカ、この漫遊客を誘致しやうと云ふので鐵道省、ホテル業者、船會社、觀光案內業者等が協議の結果つくつた對米廣告共同委員會ではアメリカ觀光客の元締めゼー、ビー、ヒユツパート氏一行十名を招聘し八月三十一日より約一ケ月間日本各地を案內してゐたが一行十名は日本及び朝鮮の旅を終へて今朝八時大連驛に到着した

驛頭には滿鐵の伊澤涉外課長、貝塚旅客係主任等が出迎へ、直ちにヤマトホテルに入つた、尙今日は旅順へ、明日は大連市中見物、次いで明後日朝の急行にて長春へ向ふと

一行の顏觸れは左の如し

米國(ゼー・ビー・ヒユツパート氏夫妻及令孃(アメリカン・エキスプレス代表)エー・アール・モーズ氏夫妻(トーマス・クツク社代表)トーマス・マロア氏夫妻レーモンド・ホイツトカム社代表)シヤドソン氏夫妻(アートクラスト・ヂリド副社長)ピー・グラハム氏(南太平洋鐵道代表)ケー・オスワルド氏(エー・テイー・エンド・エス・エフ鐵道代表)等である

行く人來た人

(上圖)朝博觀光團の出發と(下圖)米國ヒ氏一行の來連

聯隊の營門で 不穩ビラ撒布
大杉の七周年に不穩計畫 大阪で憲兵隊活動

【大阪二十九日發電】二十七日午後八時頃大阪步兵三十七聯隊營門で百數十枚の不穩ビラを投げ込んだ二人連れの男を大阪憲兵隊で逮捕した、同人等はアナ系の主義者佐藤幸三(三)綱田伊太郎(三〇)(何れも假名)でビラには軍國主義を呪ふ過激の文字が列擧されてゐるので憲兵隊では府特高課と協同し同人等の家宅搜索と共に嚴重取調中であるが、二十八日午後憲兵隊の一行は更に背後に於て糸を操つてゐると目せらるゝ江藤體(二九)(假名)を逮捕した、江藤は無政府主義者の大立物故大杉榮の遺兒を要とする男で大杉の七周年を機會に此の種の計畫を進めてゐるものでないかと見られてゐる

山葉洋行、大連、西崗子兩公議會支那菜館で前賣りしてゐる【寫眞は左から恩曉峰、恩維銘、品艶琴】

三等室に納つて 松浦博士の來連
大連を振出しに沿線各地で 生活改善の講演會

滿鐵社會課、鐵道部、社員會共同主催の下に生活改善講演會を開催すべく、これが講師として招聘された同方面の權威元京大教授醫學博士松浦有志太郎氏、社會通俗教育界の大家報國團講師村井寅雄氏は二十九日午前十時着のハルビン丸にて來連富地禁酒會員其の他の出迎へを受け月見ケ岡の柳原博士の宅に落着いた、人も知る如く松浦博士は生活改善の實踐躬行家として有名でハルビン丸に於ても三等室に收まり莞爾として記者を迎へ、ポツリ〳〵と語り出す所は全くの好々爺である

船中の三等は汽車とは又別の趣きがあり極めて民衆的で色々と教へられる所が多いよ、自分は京都禁酒會の會長ではあるが、何も固苦しく禁酒、禁煙を說かうとは思はない、生活改善は先づ食物、衞生方面から固いことはやめて談笑の間に、唄つたり踊つたりしながら、その目的を達したい考へでゐる、時間の餘裕ある限り夜間にも講演したい心組である、尙一緒に招聘を受けた鐵道青年會理事益富政助氏は急用が出來て京都から東京に引返したが陸路朝鮮經由にて來天にておち合ひ沿線にての講演を共にする筈である

緣談と婚禮

(1)どうすれば良緣が得られるか(2)娘なり息子なりに就て親の心得(3)婚禮はどうしたら一番よいか 婦人俱樂部十月號に右研究の座談會開催、娘も親もぜヒ御覽あれ。

無錢徒步旅行
兩氏けふ來連

無錢徒步旅行者の森本信彥、新田龜太郎の兩氏は沿線より本日來連し本社を訪れたが、近く天津に赴き南支旅行の途に上る豫定であると

旅順線で轢死

二十九日午前零時ごろ旅順線夏家子驛より旅順に向つて約二十町の地點に支那人が轢死されてゐる旨屆出に接し大連署から星司法主任並に奧山囑託醫は同九時三十分發列車で檢證のため現場に急行した

滿日軍優勝

大連印刷業聯盟スポンヂ野球リーグ優勝戰滿洲日報對東亞印刷は二十九日午前八時より第二中學校グラウンドに於て擧行したが十六對五にて滿日優勝した

藝者の逃亡

大連逢坂町一五〇貸座敷末廣樓抱藝妓福龍こと中原スエノ(二九)は二十四日午前六時ごろ無斷家出したまゝ未だに歸來しないので二十八日午後九時ごろ樓主から搜査願を出した

山手町小火

二十九日午前一時五十分ごろ大連市山手町四仕立業劉鳴岐(六二)かたより出火、枯草約十斤、時價十二、三圓を燒き同二時二十分鎭火した、原因目下取調中

臨時競馬 最終日
午前中の成績

臨時競馬第六日目である廿九日は午前十時半より開催されたが好天氣に本年最終競馬であるため觀衆續々と押かけ第四レースにおいて當日最初の番狂せをなしファンを熱狂せしめた午前中勝馬左の如し

▲第一競馬秋抽千八百米 第一着須野(二分四十秒二)第二着一輝(半馬身)第三着豐年(配當四圓六十錢)

▲第二競馬各抽二千米 第一着若株(二分四十一秒四)第二着金峰(半馬身)第三着伊吹(配當六圓五十錢)

▲第三競馬古呼千六百米 第一着大黑(一分五秒一)第二着月星(大差)第三着大斗(配當三圓五十錢)

▲第四競馬秋抽千八百米 第一着鳳武嵐(二分三十七秒二)第二着小鷹(二馬身)第三着那智(配當廿六圓)

夫婦心中の 取調べ
自殺幇助罪で

第九驅逐隊の贈收賄事件に連坐し豫審官の取調べを受けた結果、到底罪の免れざるを知りこの世を悲觀し妻のぶ子と共に心中を圖つたが、自分のみ生き殘つた二葉町四二店員狩野勝助(三八)は慈惠病院の手當でその後の經過良く殆ど快癒したので二十七日夜自殺幇助罪として病院より引致、大連署に留置されたが一應取調べの上、右贈收賄の事件があるので大連憲兵分隊に引渡され更に當地方法院檢察局の取調べを受け公判に附せられる模樣である

電氣マーケット景品抽籤券當籤番號

電氣マーケット景品抽籤を九月二十八日當社電燈課に於て警察官の立會を乞ひ執行仕候處當籤番號は左記の通りに付景品は當該抽籤券と引換へに御渡し可申候

景品引換場所……電燈課營業係

南滿洲電氣株式會社

昭和四年九月二十八日

一等	388	2707	2991	855	4439	1923	4419	217	545	898	1234	1561	1916	2292	2630	2999	3313	3598	3955	4354	4695	5011	5463	5785
5217	1437	2746	3108	869	4513	2108	4465	220	555	931	1273	1578	1922	2296	2634	3005	3316	3604	3958	4355	4697	5063	5489	5789
	1709	2770	3181	906	4650	2131	4552	229	565	936	1276	1599	1939	2299	2655	3008	3319	3608	3963	4356	4700	5075	5491	5799
二等	1962	2811	3271	983	4609	2239	4786	234	577	941	1282	1604	1941	2305	2670	3014	3322	3616	3977	4359	4717	5085	5494	5814
2420	2295	2950	3522	1123	4850	2248	4836	250	584	952	1286	1613	1947	2329	2677	3016	3333	3619	3980	4362	4737	5093	5497	
2530	2312	3572	3533	1270	4990	2429	5148	262	593	960	1290	1631	1953	2332	2680	3019	3335	3636	3986	4374	4760	5113	5501	
4136	2390	3628	3618	1278	5216	2439	5282	277	595	976	1294	1648	1964	2335	2687	3022	3360	3648	4001	4386	4762	5118	5506	
5227	2632	3731	4395	1385	5237	2479	5323	279	604	982	1306	1656	1968	2338	2695	3046	3364	3654	4034	4399	4780	5121	5519	
	2769	4045	4518	1426	5637	2557	5417	280	618	985	1313	1658	1972	2348	2700	3048	3380	3694	4038	4405	4783	5124	5530	
三等	2826	4074	4681	1546	5690	2616	5428	305	619	987	1314	1659	1979	2357	2701	3053	3396	3700	4054	4408	4793	5129	5537	
574	2981	4301	4755	1880	5778	2640	5446	306	657	1001	1315	1676	1986	2374	2708	3060	3408	3704	4064	4450	4800	5133	5541	
810	2998	4322	4779	1943		2652	5712	316	663	1048	1326	1682	1991	2389	2710	3068	3410	3750	4065	4478	4803	5147	5548	
1456	3647	4944	4796	1990	九等	2743	5717	327	665	1052	1333	1691	2028	2398	2738	3086	3417	3759	4088	4486	4807	5151	5559	
2375	4071	5040	4889	2039	57	2946	5754	329	681	1059	1335	1696	2032	2399	2758	3091	3422	3762	4095	4491	4811	5172	5594	
3009	4319	5268	4964	2103	58	3110		341	692	1070	1341	1703	2043	2404	2759	3097	3434	3769	4114	4508	4817	5183	5600	
3566	4330	5586	5096	2254	72	3170	十等	361	699	1074	1368	1732	2066	2410	2771	3098	3439	3772	4116	4509	4818	5190	5601	
5535	4487		5103	2277	212	3300	7	367	708	1076	1372	1742	2077	2423	2774	3115	3446	3785	4130	4511	4822	5197	5602	
	4903	七等	5109	2573	356	3341	13	371	724	1081	1376	1753	2078	2446	2824	3116	3449	3787	4135	4515	4825	5204	5610	
四等	5154	108	5260	2653	428	3374	17	375	733	1097	1395	1759	2088	2450	2829	3133	3450	3788	4137	4517	4833	5221	5620	
331	5572	379	5270	2689	500	3448	22	380	737	1104	1409	1769	2089	2471	2831	3144	3453	3794	4145	4524	4838	5230	5625	
826		589	5308	2693	673	3462	50	411	749	1112	1431	1787	2092	2475	2851	3148	3471	3820	4165	4538	4844	5236	5629	
1096	六等	943	5331	2792	720	3575	51	412	753	1114	1445	1793	2093	2498	2859	3152	3472	3830	4167	4546	4859	5244	5653	
1301	171	965	5388	2940	725	3653	73	413	757	1125	1453	1800	2095	2499	2878	3155	3475	3838	4171	4549	4868	5254	5658	
1495	296	1100	5389	3087	758	3674	83	414	775	1130	1462	1816	2096	2504	2892	3161	3479	3846	4196	4575	4869	5258	5662	
2340	642	1251	5794	3135	761	3773	98	433	782	1131	1464	1818	2097	2523	2899	3163	3488	3850	4219	4579	4871	5275	5683	
2403	694	1640		3180	829	3864	114	443	798	1135	1466	1821	2155	2524	2901	3166	3489	3852	4230	4599	4880	5290	5684	
2556	808	1774	八等	3576	1007	3898	118	446	825	1137	1481	1826	2161	2534	2906	3172	3503	3853	4244	4606	4894	5299	5694	
4296	837	1820	45	3589	1016	3969	125	451	834	1155	1490	1833	2188	2537	2922	3176	3508	3866	4249	4609	4900	5324	5695	
4791	1194	1891	92	3633	1045	4098	128	481	836	1162	1508	1846	2191	2539	2923	3193	3532	3902	4251	4624	4910	5326	5710	
5013	1214	1992	167	3709	1065	4140	129	494	839	1166	1528	1854	2217	2564	2929	3205	3538	3905	4260	4629	4939	5371	5713	
5257	1281	1994	348	3839	1149	4194	139	517	843	1168	1532	1860	2235	2567	2931	3209	3558	3907	4261	4642	4950	5383	5733	
5665	1417	2000	363	3967	1174	4209	141	527	847	1178	1533	1865	2242	2582	2937	3210	3559	3909	4289	4649	4977	5411	5736	
5748	1853	2434	401	4006	1182	4210	177	536	857	1184	1535	1869	2258	2592	2945	3215	3563	3926	4294	4662	4991	5413	5738	
	1924	2681	405	4025	1197	4246	179	538	865	1186	1541	1897	2269	2596	2951	3224	3565	3944	4313	4668	4999	5421	5759	
五等	2464	2697	793	4073	1784	4347	197	539	868	1196	1542	1898	2286	2599	2952	3231	3571	3946	4324	4678	5007	5432	5762	
372	2470	2807	797	4418	1855	4369	207	541	880	1208	1555	1914	2291	2619	2968	3298	3592	3950	4348	4693	5010	5458	5776	

コドモページ

十月二日に行はせられる

正遷宮に就いて（三）

◇御造營の次第◇

次に今度の御造營の次第についてお話いたしませう。先づ社殿をこしらへるにはたくさんの材木がいりますが、その材木はどこの山からでも伐り出すのではなく古から御料林は木曽山に定められてゐます。今度の御造營の御杣山（材木を伐り出す山）は大正九年四月二十六日に長野縣西筑摩郡駒ケ根村大字小川御料林及岐阜縣惠那郡加子母村字出ノ小路御料林に定められました。そしてそれらの山から木を伐り出すに先だつて同じ年の五月に山口祭、木本祭が行はれましたこのお祭は御杣山の山口及び木本にしづまります神さまをお祭りして無事に木を伐り出すことの出來るやうにお祈りするお祭で、神宮御造りがへの一番初めのお祭りです、さていよく御料材が伐り出されますと一先づ山の中にある搴安所にしまつて置き、時期を待つてこれを木曽川に流します。丸太のまゝの用材は急な流れに乘つて次第に下流へ下流へと流れ數日の後に名古屋市熱田町にある白鳥貯木場に一旦つながれます。それから御用材は船に積まれ海路を經て三重縣の大湊町にある用材置き場に運ばれるのですが、今度の御料材は大正十一年から昭和二年まで七ケ年に亘つて大湊町の貯木場から宇治、山田の兩工場に運ばれ大正十一年には御木曳初式と言つて御料材の中から正殿の亜木にあてられる大きな材木を現場に運びましたが、それは古からのならはしによつて宇治山田市及び其の附近の村の人々が揃ひのきものを着て節おもしろく木やり音頭をうたひながら勇ましく用材を曳きました。

このやうにして御用材をすつかりはこびこんでしまふといろくの儀式にうつるのですが大正十一年の四月には木造始祭と言つて木造のしごとを始め、ついで十三年五月には嚴かな鎭地祭が行はれ、昭和三年三月には立柱祭、上棟祭、五月から七月にかけては御屋根をふきまつるためののきづけ祭、その他甍祭、御戸祭などのいろくの祭りが次々と行はれ本年の九月に入つてからは御船代を彫奉るための御船代祭、しんのみはしらを建奉るための心御柱奉建の儀正殿のできあがりをお祝ひする杵築祭及び後鎭祭などが行はれていよく御造營の工事が全く出來上つたのです。（つゞく）

秋風

大廣場小學校一年　堀義彦

このごろ秋風
ふいてきた
そよそよ秋風
ふいてきた
あさばん涼しい
きがします
朝おにはを
はくときに
お手てがつめたい
きがします
藤のはつぱも
きいろくなつて
かぜにひらひら
とんできて
おにわいつぱい
おちばです

ムラサキホコリカビ

滿洲最初の發見

名譽ある溪正夫君

今月二十一日の本紙地方版に滿洲醫科大學の福田教授が滿洲ではじめて「ムラサキホコリカビ」を發見したといふ記事がありましたが、二三日前南滿教育專門學校の大賀理學博士が大連一中の理科室を訪問した結果福田教授よりも一足先に「ムラサキホコリカビ」を發見してゐるものゝあることがわかりました。

名譽の發見者は大連第一中學校四年生の溪正夫君で、同君は今年の夏休みを利用し趣味を同じうする學友數名と共に同校博物擔任の小林先生に引率され安奉線に植物採集に出かけたのでしたが、その時本溪湖、鞍山及連山關で計らずも朽果た古木の切株に「ムラサキホコリカビ」を發見し、此の意外の獲物に採集旅行の有意義であつたことを語り合ひながら喜び勇んで大連に歸つたのでした。その後溪君は小林先生の指導の下に胞子の培養や胞子の活動狀態觀察につとめたが培養も立派に成功し、胞子の活動する樣子も顯微鏡下に完全に見ることが出來たさうです。この「ムラサキホコリカビ」といふのは一種の變形菌で畏くも今上陛下が熱心に御研究中のものであります。このムラサキホコリカビは非常に種類が多いのですが、滿洲ではこれまで見つけた人はありませんでした。しかし偶々溪君によつて發見されたことは滿洲植物界の一大貢獻であると同時に溪君に取つては最大なる名譽です。（寫眞は溪正夫君です）

二ドメノ大チヤンノタンケン（109）

ハルミチ作　ジラウ書

「オヂサン　コノ　センスヰテイガ　ウゴキマスカ」大チヤンハ　オヂサンニ　キキマシタ。「アー、ウゴクトモ　デンチニ　デンキヲ　イレサヘスレバ　リツパニ　ウゴクヤウニナルヨ」「シカシ　コンナ　シマデハ　デンキガ　ナイカラ　コマルデセウ」「ソレニハ　ヨイ　クフウガアル、デハ　コレカラ　ワタシタチノ　コヤニ　カヘラウ」ソコデ　オヂサンハ　ウハギヲヌイデ　センスヰテイノ　カンパンニ　ホヲ　コシラヘマシタ。ヤガテ　ウハギノ　ホハ　カゼヲ　ハランデ　フネハ　シヅカ[illegible]シマシタ。

兒童の作品

エンソク

沙河口校小學校一年　小竹ミグミ

キノフ　エンソクニ　イキマシタ。キノフハ　ヤマノテツペンニ　マダ　ノボラナイトキ　ヘンブンノボツテ　ジンシヤノホオオミテ　ミルト　イチバンサキ　ガツコウガ　ミエマシタ。テツペンニ　ノボツテ　クリヲタベテ　バツカリヰマシタ。ソレカラ　センセイガ　アソンデキナサイ　トイヒマシタ。ソレカラタカモトクンガ　タノデ「オイキミクリヲ　ヤロウカ」トイヒマシタラ「ウン、クレ」トイヒマシタノデ「ナンボイルカ」トキクト「フタツクレ」トイヒマシタ。ソレデヤリマシタ。ソレカラ　フヂイセンセイガ、ゴハンノヨウイトイヒマシタノデ、スグタベマシタ。アンマリオカヅガオイシクナイカラ　ノコシマシタ。スルトムコウニ　ブーントイヒマシタノデ　ミテミルト　ヒカウキガ、ムカウニトンデヰマシタ。ソレカラ　ススキヲトツテカヘリマシタ。

四人の女を口で持ち上げる男

これはドイツで評判の恐ろしい力持ちです。

ごらんなさい、口に六尺ばかりの鐵の棒をくわへ、四人の女をぶらさがらせて平氣でそれを持ちあげます。何と恐ろしい力ではありませんか。

童話

正ちやんと白蝶（上）

近藤義長

秋の夕暮です。赤い夕陽はもう遙か彼方の山の端に沈んで、夕風に高粱がザワくと音を立てゝゐます。邊りは薄い灰色に包まれて來ました。正ちやんは今日もまた廣い庭に出て、袋のついた竿を振り乍らトンボを取るのに夢中でした。

「あゝこんなにとつたく」

さう云つて正ちやんは竿を放り出すと澤山とつたトンボを數へるのでした。赤い可愛いトンボは皆んな羽を押へられてバタくと苦がつて身振ひをしてゐます。

「又こうしてやれ」

そう云つた正ちやんはその中の一匹の羽を半分からちぎつて放してやりました。けれ共放たれたトンボは羽を切られて如何して飛ぶ事が出來ませうか、少し行つてはひつくりかへり、少し飛んでは落ちて仕舞ふのでした。

「面白いく」

正ちやんはそれを見て飛上つて喜ぶのでした。そして又一匹の羽をちぎらうとしたのですが丁度その時……

「正ちやんく」

と呼ぶ聲がしたのでひよつと振り向くと其處には一匹の白蝶が正ちやんの手にしたトンボをぢつと見乍ら立つてゐました。

「何んだい、君が呼んだのか？」

「そうです、正ちやん可哀相だからお止しなさい」と白蝶は云ふのです。

「何が可哀相なものか、馬鹿」

正ちやんはそんな事を云つて又羽をむしりにかゝらうとするのです

「ね正ちやん、御願ひですから放してやつて下さいな、そのかはり正ちやんをいゝ處へ連れて行つてあげませう。ね、そんなに生物をいじめるものではありませんよ」

と白蝶は頼む樣に云ふのでした

「何處へだい」

「いゝ處へ連れて行つてあげませうと云はれた正ちやんは何處かしらと思つて好奇心を起しました。

「あたしの家です。それはくいゝ處ですよ、さ行きませう、そんなものは放してしまひませうよ」

「うん、ぢや放してやらう」

正ちやんは手につまんでゐた五六匹のトンボを放してやると白蝶について歩き出しました。トンボは嬉しさうに飛んで行きます。

×　×　×

白蝶の家は庭の隅にありました色々のきれいな草花に圍まれた立派な玄關があります。「僕なんか行つたつて蝶の家なんかへは這入れやしないのだ」そう思つてゐた正ちやんはこれを見て本當にびつくりして仕舞ひました。

「きれいだなア、大きいなア」

思はず正ちやんは大聲に叫ぶのでした。

「おかへりなさい……」

玄關に立つてゐた二匹の蝶はさう云つて頭を下げると戸を開きました。

「さゝ、御先きに」

と白蝶は正ちやんを先きに入れて又戸を閉めると正ちやんと並んで歩きました。長いく廊下です。赤や青さまぐの豆電燈がまばゆいばかりに輝いてゐて目もくらむ樣です。正ちやんはまるで夢の樣でした。

「どうですか」

白蝶は正ちやんの顏をのぞき込む樣にして云ふのです。

「素敵だなア」

正ちやんはぢろく邊りを見廻はしました。

平安異香 (125)

菊多獸太郎作 中一彌畫

鳩を賣る男(六)

何分足下から鳥の立つやうな騒ぎだつたので、どうする暇もなく黒住源八郎は荒田のさる百姓家の離れのやうになつた一棟を借りて住んでゐた。

檢非違使廳を飛出した下役人はそれへ駈つけて、

「お組頭、すぐお出でを願ひます素晴らしい大物なんで……」

といつたのだつた。

その時源八郎は夕風の涼しい縁に出て、愛犬の春駒といふのを相手に戯れてゐたが、

「さうか」

と云つたばかりで犬の頭から手を放さなかつたが、

「なんだ、なんだ」

と奥から飛出して來たのが郎黨のからつけつの勘兵衞といふ剽輕者だつた。手に火吹竹を持つてゐ

る。――飯炊をやつてゐたのであらう。

「おう、こりや三宅さん、どうしたんだね、そんなに息を切らせて……」

「うん、なんだ。大悲山の夢之助がこの福原へ出やがつたんだ、お組頭へ使屬に人數は揃つてゐる。すぐお出かけなさつて下さい」

源八郎が犬の頭を撫ながらいつた。

「別當の邸だらう」

「へエ？よく御存じで……」

「何か變な鳥を擔いで鳥賣りになつて」

「あ、さう聞きましたが――？」

「誰がそれを夢之助と看破したのだ」

「一向、その邊のことは伺つてゐませんが、お頭の方樣からのお訴へのやうで……」

「あ、さうか。先頃大悲山へ擔いで行かれたといふから……」

「兎に角すぐにお出かけなさつて下さい。あの男を捕へるにこんなよい機はないのだし、それに勸修寺邸で變な間違ひがあつては役目の手前申しわけがないと云つて、判官も急いでおゐでになります」

「役目の手前か――」

苦笑して、

「行くと云つてくれ、長くは待たさぬ」

「では一刻もお早く――御免」

と下役人は駈て行く。と、

「お大將、さあこの腹拵をあてくんな。大物の浦以來の夢之助だ。こん度こそはふん縛つてやりませう」

からつけつの勘兵衞が落着かぬ腰を浮せて急きたてるのだつたが

「飯はできたか。出來たら持つて來てくれ」

源八郎は容易に動かない――いや、動けないのだつた。

源八郎は自身直屬の配下の五六人を百姓や商人に變裝させて福原を歩かせてゐたので、師輔が鳥賣りを邸へ連れて行つた事を既に宵のうちから知つてゐた。

配下の話を聞いて、どうもをかしい男だと思つてゐた矢先だッたので、下役人が飛んで來た時、何かあつたなと思ひ、夢之助が現はれたと聞いて、さては――と思つたのだつた。が、假にも秦の司馬陵だの月夜鳥だのといはれてゐる源八郎だけに、おいそれとは立てないのだ。出た以上はどうしても捕らないではゐられない源八郎だ。大物の浦の失敗もあることだ――勘兵衞に夕餉の仕度をいひつけておいて、源八郎はごろりと横になつた。

手枕になつて、蚊遣りの煙を無心の眼で追つてゐるのだつた。

それへ勘兵衞が膳を運んで來て源八郎の給仕をしながら自分も食ふ。

食ひながら源八郎を見ると、源八郎は重苦い顔をして、啞者のやうに默つて食つてゐる――

なるほど、お大將にはお大將だけの氣苦勞があるんだ。深い思案があるんだ――と思つたので、勘兵衞も急きたてるやうな事は云はなかつた。同じやうに默つて口を動かしてゐる。と、遽に源八郎の顔がからつと晴れたと思ふとにんまりして、

「勘兵衞、うんと食つておけよ。腹がひだるくては、手傷を受けた時に我慢が出來ない。それに今夜は、ひよつとすると十里二十里をぶつ飛ばなきやならないかも知れないぞ」

恩維銘の支那劇 その觀方

(上) 石原巖徹

今回協和會館に出演する恩母子及び品艶琴の劇目に就き、その觀方を記していさゝか大方の參考に供したいと思ふ。

武家坡

此劇は老生(男)青衣(女)の二人の芝居で、老生が主役である場合は最初の出の歌有名な「一馬離了」の一節と、中程の口說き始めの歌「八月十五…」の一節が聽きものである。青衣が主である場合には口說きの場面の歌が好い。總體的に云へば口說きの場面の男女のカケ合ひの歌及びセリフがクライマックスである。又女が男のカラカヒをはぬつける場面の所作表情は興味深き觀物である。歌は西皮調

烏龍院

水滸傳の一節で宋江(老生)が閻(花旦)の居處へ遊びに來て、すつたもんだの末もう來ないと云つて出て行つた後で、妖夫張文遠と女とが宋江謀害の計を定める處まで、普通終つて居る。これに「代殺惜」と云つて、宋が手紙を取りに又歸つて來る處から、殺しまでを續けて演る場合もある。此劇は歌は大して面白くないが、梁山泊の英雄の女に對する不甲斐なさ振りと、淫婦のフテクサレ振りが極めて面白く描寫されて居るので社會劇的興味に富んで居る、歌は二黄

李陵碑

俗に碰碑と云ふ、悲壯史劇で楊業(老生)の子七郎の幽靈が夢に現はれて恨を告げる所から始まり業が七郎の兄六郎を遣はして七郎の行方を探させ、其後で一人自盡する所で終る。此劇は最後に業が楊家一門の苦忠の事蹟を反二黄と云ふ悲調で唱ふ所が聽きものである、老生の唱事門の劇として最もむつかしく又面白いもので、今これの出來る役者は多く無い。歐陽峰の當り劇である。歌は二黄

梅龍鎭

明の武宗正德帝が下情視察の微行をやり、美人を得て歸ると云ふ筋、劇名は又遊龍戯鳳とも云ひ唄は烏龍院と同じく平板二黄で大して面白くないが、二人の無邪氣なイサカヒ振りが觀る人の心をなごやかにする、

品艶琴の娘はさぞ可憐な處を見せるであらう、簡素性を明すところで帝が下衣を見せるのは天子の證據即ち龍の模様のあることを知らせる爲めである。

滿洲日報

田中男の死去を悼む

田中男、二十九日早朝、遽然死去す。悼まずんばあらず。

◇

田中義一男は、政治家にして軍人、軍人にして政治家なりき。現に政友會總裁の地位にあり。陸軍大將の職を去り、政友會の總裁に就任するや、立憲政治家として、大に期するところありしもの〻如し。若槻內閣の倒れて、政友會內閣を組織するや、いはゆる積極政策を唱道し、大に爲すところあらんとせり。殊に對支外交において、大に期するところありしも、事志の如くならず、濟南出兵も、却つて積極政策の破綻を暴露するが如きものなりしは、田中男のため最も遺憾とせざるべからざるところなりき。內政にありてもまた田中男は、積極的なる政友會の尖端に立ち、常に奮鬪、殆んど休止隙の色なかりしなり。主義主張、思想性格の如何は兎も角として、男が誠意を披瀝し、以て國家のため奉公せんとするの事實は、何人もこれを認めざるを得ざるところなり。

◇

ただ田中男は軍人出身、ゆゑに政黨政治の舞臺にありては、や〻もすれば今日の政界と調和を缺くの嫌ひあり、從つて黨內の統制、または政界への進出において、多大の苦心を必要としたるものありしが如かりき。久原房之助氏を起用したりしが如き、實に苦心の結果ともいふべく、從つて事を急ぎ、すこしく無理のコースを擇ぶの餘儀なきものありしが如きは、政界に處する以上、また已むを得ざりしところならん。然れども內閣組織以來、惡戰苦鬪、幾度か瓦解を傳へられ、しかも克く最後まで奮鬪を續け來れるは、田中男の努力の甚大なるものありしを認めざるを得ざるなり。

◇

政友會內閣の瓦解して、田中總裁の野に下るや、捲土重來、大いに爲すあらんとして休養しつゝ、しかも總選擧の接近するや、在野黨として、將に來らんとする戰鬪に對し、着々準備に餘念なかりしに、從來の持病の三回目の發作により、つひに起つ能はざりしは、政友會のためのみならず、政界の惜みても尙あまりあるところなり。田中男の死去は、餘りに突然なりしため、その打擊は、けだし思ひ半ばに過ぐるものあらん。特に黨首問題の云々されつゝありし折柄、現黨首の死去は、相當深刻なる打擊に相違あらざるべし。然れども、政友會は多士濟々、高橋、犬養、鈴木、床次らの諸氏あり。後繼黨首には、必ずしも事を缺かざるべし。

◇

ただしかしながら、政友會としては、小川氏の疑獄事件にて收容さるるあり、多事多端の秋に方り、田中男の死去は、在野黨としての政友會のため、また日本憲政のため痛惜せらるるところなり。既成政黨に對し、吾人は多くの注文を有するものなり。しかしながら、この際あまり多くをいはんと欲するものにあらず。ただ政友會の諸氏が、此際、殊に協心戮力し、以て在野黨たるの眞骨頭を發揮せんことを要求するものなり。由來、政友會は官僚臭なき政黨、政黨らしき政黨として今日に至れるもの。一黨首を失ふといへども、淡際失心することなくいよ〳〵結束を固くし以て、後繼黨首を推戴し、在野黨としての面目義を發揮せんことを希望せざるを得ざるなり。

◇

吾人は在野黨總裁田中男の死去に對しわが政黨政治のため哀悼の情を深くするものなり。

逝ける田中政友總裁

物事に屈託せぬ樂觀者だつた

高橋是清氏談

田中總裁とは原內閣當時同列となり懇親を重ねた最初會つたのは師團增設問題當時井上伯邸であつた原內閣が寺內內閣の陸海軍の軍備擴張といふ難問題を財政の許す範圍內で實行する事に決定して瓦解した後を承けて此の難關を背負つた、陸軍の師團增設問題に對し海軍側は八八艦隊問題があり

原總理 は國防の事は不案內だから我輩が山本第一次內閣當時藏相として師團增設問題、海軍問題に折衝した關係から我輩にやつて呉れとの事であつた、我輩は之を引受ける事になり國防問題は陸海軍と大藏大臣と三者鼎立してやらねばならぬとの意見を有してゐたのでその方針に依つて進み田中陸軍加藤海軍と我輩は膝をつき合せて協議した、この時加藤海相は艦齡問題から海軍擴張の已むなき

事情を 述べて腹藏なき意見の交換を遂げたところ田中陸相もさつぱりと承知し海軍問題解決を待ち大正十六年度から陸軍の問題を實行しやうと云ふ事になり田中君は男前を見せて呉れたので實に賴もしく思つた、爾來閣議席上でも國防問題は財政との調和を採つて進むことに三者の意見が一致してゐた、要するに國防問題で財政、陸海軍三當局が鼎坐して圓滿に解決すると云ふ事は原內閣當時からだつたと思ふ、斯くて原總裁の後を承けて我輩が總裁となつた時にも

後繼者 を早く物色することが條件となつてゐたが偶々田中君が後繼者となつたので我輩も樂になつた、處が不思議な事には田中君が總裁になる時の話によれば田中君と我輩は緣續きだといふ事であつた、それは我輩の妹が緣付いた千葉縣出身小出秀政が田中夫人の從妹と云ふので我輩も其の奇緣に驚いた、田中君は總裁になつてからは我輩に

心配を かけまいと別段相談するやうな事もなく最近會つたのは九月初め葉山に見舞に來て呉れた時だつた、色々問題があるから心配してゐるかと思つたが終始元氣で愉快に話をした一體に物事に屈託しない樂觀者であつた

政治的立場こそ違へ 古い親交の間柄

「感慨無量」……濱口首相語る

誠に驚き入つた次第である今日は日曜で少し寢過ぎてゐた處へ宇垣陸相から至急會ひ度いと云ふ電話があつたので何事が起つたかと思ひ面會して見ると田中男が突然逝去されたとの事で誠に吃驚して仕舞つた、平素頗る壯健な人でこんな事があらうとは夢想だにしなかつた、田中男とは政治的立場こそ異にしてゐたが

大隈內閣 以來の古い親交の間柄であつた、政治家としても武人としても誠に模範的な人であつた、世間では男に對して兎角の批評を投げる者もあつたが批評は何人と雖も免れぬ處で相當の手腕力量を備へた政治家たる事は何人も認めるであらう、前途尙國家のため貢獻すべき事は御自身衷心の願であると共に人も亦これを期待した處であるが、今日この訃音を聞いて感慨無量のものがある、私は十數年の友誼を顧みて茲に謹んで哀悼の意を表するものである

政友會後任總裁は 暫定的に犬養氏か

高橋氏は再度の出馬を肯じまい ◇……政府側の觀測

【東京特電二十九日發】田中政友會總裁の急死により政友會は突如後任總裁問題に直面するに至つた右につき政府側の觀測を綜合するに左の通りである

田中政友會總裁が突如死去したことはお氣の毒で哀悼に堪へぬ所である、政友會は最近

不祥事件に 會ひ黨首問題も起つてゐた矢先きではあるが、かくもそう急に同黨が黨首問題に直面すると豫期しなかつた所であらう、政友會は今日高橋是清氏邸に緊急幹部會を開いて同問題を協議した由であるが

從來黨內の二大勢力であつた鈴木、床次兩氏はその勢力の拮抗から何れとも直ちに總裁には就任することは出來まいし、政友會としてはこの際まづ結束第一を以て他に總裁を求めやう、しかし高橋氏はおそらく再出馬をがへんじまい、さすれば暫定的に犬養氏を據へ

總選擧後に おもむろに考慮しようが、結局はそのまゝ居据はりとなりはすまいか、平沼氏起用說等があるが外部から黨首を迎へることも實現出來まいと思ふ、又これ迄一勢力をなした久原氏の沒落はやむを得まい

後任總裁として 犬養長老を推戴

顧問會で意見一致す

【東京二十九日發電】本日午後高橋邸で開かれた顧問會では極秘裡に後任政友會總裁につき議せられた、床次、高橋、鈴木の三氏とも犬養長老を後繼者として推戴すべく意見一致し、直ちに犬養翁に內諾を求むるところあつたが、犬養翁は一夜熟考を乞ふたと

後任總裁は 葬式後の事だ

元田肇氏は語る

實に驚いた取敢へず弔問のうへ長老會議に出たわけだ、黨首を失つた後が大變であるが一時長老の一人に臨時總裁に出て貰ふとしても長老のうち引受けるものもあるまい、それに今日はもつと力ある若い人物を要求する時勢になつてゐる、黨外から迎へるといふ噂もあるが黨外にその人物があるまい、伊東伯を連れ込むといふのは黨外のみにその空氣あり、黨內にはない何れにしても後任總裁は葬式が濟んで後でなければ決められぬ、原敬氏が刺された時も高橋君は先づその後を襲つて總理になつただけで總裁に決つたのはずつと後で

士官學校時代の 竹馬の友だ

鎌倉で 山梨大將談

【鎌倉二十九日發電】鎌倉の別莊に田中政友會總裁の訃を聞いて山梨大將を問へば大將は語る

それはほんとうか夢の樣な話だ俺とは士官學校時代に同じ部屋で勉強した竹馬の友だ、狹心症は彼の持病で俺は日頃それを氣遣つてゐた、今度朝鮮から歸つても未だ會はずに居たが遂に會はずに終つた、彼は何と言つても偉大な人物だ、わが陸軍の動員計畫、軍攻戰時法規等は田中に依つて作られたものである、彼は山縣公に引立てられたが元で今日の地位を作つたものである、丈夫さうだつたが日頃體が弱く陸相當時狹心症を患つたのが初めである

なほ山梨大將は三十日朝鎌倉發弔問のため上京すると

和氣靄々の風は 田中男の財產

安達內相談

田中男は人事行政を過つたと云ふが、その實あの人は非常に人事に注意した人である、殊に同男は愛嬌があり「やあ」と言つて和氣靄々たる風があり之があの人の唯一の財產であつた、然し全く無理をして政治をやつたため心身の過勞を來した、今忽然として逝くに至つたのは氣の毒の極みである

眞似の出來ぬ 魅力があつた

山本達雄男語る

田中男の逝去は誠に意外で驚いて居る、近來內閣を退いてから間もなく隨分色々な心配が內外から襲つて來た樣だつた、それで心中餘程苦しんでゐたものと察せられる心を痛めた爲め持病の狹心症が再發したものだらう、時が時で男のため一層氣の毒に堪えぬ、男に對し非難する人もあるが一方眞似の出來ぬ人を引きつける力を以つてゐた

得難い人材だ

太田關東長官談

田中政友會總裁の逝去に就いて太田關東長官は左の如く語つた

田中政友會總裁突然の逝去は金州で聞いたが頗る驚いた、實に痛惜の念に堪えない、同總裁は幾多長所を有する得難い人材であつた、殊に私は我邦憲政發達のために二大政黨の互に健全なる發達を遂げることを切望せるものであるが、政友會は田中男の逝去により一層の難局に遭遇することになつた譯である、後任總裁は黨內から持つて來るか或は又黨外より有力な人物を得て第三者から樹てるか不明であるが、切に確乎たる人物を後任總裁にたて〻政友會の甦生、建直しを實現し以て政黨政治の發達を期する樣希望する次第である

男の長逝 痛惜に堪えぬ

犬養翁の談

田中男は政治家として又武人として誠に立派な人物であり、年齡も六十七歲といへばさして老境とは云ひ難く、之から大いに國家のため貢獻せんとしてゐたのに、今日突然病のために長逝されたのは實に痛惜に堪へぬ、同男の如く勇斷に富む政治家は現下の國難を打開する上に必要な人物で、今後必ずや大いになす處あつたであらうに返すぐ〵も惜い事をした

一致團結して 進まねばならぬ

床次竹二郎氏談

田中總裁とは地方遊說に出掛けるべく汽車の時間まで打ち合せたのであつたが突然の逝去は驚くの外はない、黨としては重大なる時局に直面してゐるのであるからこれから一致結束して進まねばならぬが、後任總裁問題も遽急に簡單に決するものではない

我少年團も 產みの親

田中喜介氏談

餘り不意の逝去なので驚いてゐますが、私は田中男の陸軍大臣時代と在鄉軍人會長時代に數回會つた許りで郷黨の大先輩と云ふ以外餘り知りませぬ、軍人出身の政治家としては長州では山縣、桂以來のラインの太い豪放果斷な政治家でありました、在世時代には世間から兎角の批評を受けましたがさて歿くなつて見ると今更に輪廓の大きな人物であつたことを思はせます抱擁力と實行力を有つコセ〵しない人物が漸次影を沒して行く現代に於ては時に此の感が深いではありませんか、政友會にあるあれ丈けの群雄を頭から抑へて微動だもせしめず今日迄統率して來た事丈けでも何處か

傑れた 點があつたからではないでせうか、兎に角山縣公からあれ丈けの信頼を受け得た點から見ても非凡の人材であつた事が窺はれます、世間の餘り知らない事ですが今日の日本の少年團は實に故男の創意に係るもので男が軍務局長時代かに洋行して米、英の少年團等を視察し歸朝後少年團に關する書物を出したのが始まりで內地では靜岡、沼津等に最初に設立されたのです、逸話としては日露戰當時新歸朝のロシア通として參謀本部の帷幄に參し露國の軍事輸送力を平時の二倍と見積り上司に進言した所實際露國は其の位の輸送能力を發揮した等有名な話です

鄉軍會の創始者

畑關東軍司令官談

閣下が今度歿くなられ樣とは夢の樣である、全く意外な逝去であつた私も永らく本省で閣下の下に仕へ公私共に大變お世話になつたものでそれだけ種々の追憶もある譯である、その中でも閣下が却々種々の他人の考へ及ばぬ樣なことをよく考へ出されてゐたことは何時も皆が感心してゐました、帝國在鄉軍人會が今日の隆盛もその一例でこれは歐洲戰爭後「軍人は唯だ軍人のみが軍人でない」といふ閣下の考へからこれを樹てられたもので實に閣下は在鄉軍人會の考案者創始者である、又現在の青年訓練所の如きも同樣の例です、尙閣下は軍人にも似合はず非常に政治が好きで既に少佐の時代から故加藤(友三郎)子等と往來したりしてその後第三聯隊長時代には故大隈侯を招聘して講演會を開かれた樣なこともありました、却々豪膽な又反對に非常に眞面目な性格の人でしたが死因となつた狹心症はずつと以前からあつたので御大典の際も之で危かつたのでしたが到頭なくなられたのは返すぐ〵も殘念なことです

政界淨化に 進む時

齋藤朝鮮總督談

【京城特電二十九日發】田中政友會總裁死去の報に接し齋藤總督は倭城臺の官邸で左の如く語つた

とう〳〵持病にやられたか、昨年の御大典中にもこの狹心症が起つたが奇蹟的に癒つたので再發は想像されてゐたが意外に早かつたのは氣の毒に堪えぬ、時局多端の際政局に相當變化を見るであらうが政友會がどうなるか自分には判らぬ、昨今兎角の問題を起してゐる政黨人はこの機會に大いに考ふるところあつて政界淨化に進む動機ともなれば結構と思ふ

松田拓相 新義州入り

【安東特電二十九日發】松田拓相は廿九日二十時四十一分着列車にて新義州着官民多數の出迎へを受け直ちに公會堂に於ける官民合同の歡迎會に臨み同夜ステーションホテルに投宿、三十日は朝八時ホテルを出で王子製紙を視察したのち道廳に到り約三十分谷道知事より管內の狀況を聽取し、次いで營林廠、稅關、法院の順に視察したうへ府廳にて有志と接見、製鋼所設置その他地方問題の陳情を聽き十一時安東に向ひ鎭江山に登り忠魂碑に參拜後領事館に立ち寄り十一時四十分(滿洲時間)發列車にて奉天に向ふ豫定で齋藤滿鐵理事西山事務官東道する筈

奉天の日程

【奉天特電二十九日發】松田拓相の來奉日程は左の通りである

三十日午後七時五十五分着奉天ヤマトホテルに入り同夜金龍亭に於ける大分縣人會の歡迎會に出席、一日奉天神社忠靈塔に參拜しそれより張學良、翟文選を訪問、滿鐵公所にて晝食後宮殿及び四庫全書を觀覽し一旦ヤマトホテルに歸り張學良の答禮を受ける▲二日は撫順往復、夜七時奉天神社に於ける遷宮式に參列、同夜學良氏の歡迎宴に出席▲三日は製麻會社毛織會社及び東亞煙草工場を視察し正午ヤマトホテルに於ける在奉官民の歡迎宴に出席後午後三時五十分發にて長春に向ふ

必要事業を犧牲に 金解禁斷行が急務

今や日本は緊縮が必要の時代だ 松田拓相車中で語る

【新義州特電二十九日發】松田拓相は車中に出迎へた記者に對し左の如く語つた

今回の視察は拓務省所轄內の實情を調査するのが目的で朝鮮各地を視察し、非常に得るところがあつた、自分は初代拓務大臣として責任の重大なるを感じ豫算編成前に管內の視察を思ひたつたのである、自分は今の時勢に鑑み民意の暢達、權利尊重、人心一新

綱紀肅正 の必要を痛感してゐる、即ち朝鮮に於ては鮮人の要求は現在のところ未だ急激ではないが、ソコに至らぬ前に爲政者は善導しなければならぬ朝鮮の物資文明は進んでゐるが先進的に鮮人を導くことが必要で今後大いに社會事業に力を注ぐべきであらう、朝鮮統治はなか〳〵重要至難であるがこれは官吏のみの責任でなく、全國民の責任である、目下問題になつてゐる、昭和製鋼所の計畫內容や設置場所についていろ〳〵意見があるがこの問題は目下滿鐵に於て調査中であるから近く可否何れかに

決定する であらうが、日本の現狀は緊縮を必要とする時代で製鋼所、鐵道、港灣等種々重要有利な事業があつても先づ何より金解禁を斷行しなければならぬから、新規事業には手を出せぬから必要な事業でもそれを犧牲にしなければならぬ、國民一部の利益よりも國家の利益を考慮しなければなるまい

講演會に臨み 快辯を揮ふ

田中男の死去を悼み暫し默禱 平壤にて松田拓相

【平壤特電二十九日發】鮮滿視察の途次二十九日朝、平壤に着いた松田拓相は午後二時半から同地公會堂における平壤府主催にかゝる入鮮以來最初の公開講演會に臨んだ、聽衆は官民一千數百名の盛況、拓相は登壇、まづ我らの反對黨たる田中政友會總裁が今朝、突如死去したとの報に接し哀悼に堪えずかつ二大政黨對峙時の

現政界 において有力なる敵將を失つたことは遺憾とする、こゝに謹んで哀悼の意を表したいとて聽衆全部の起立を求め暫し默禱の後講演に入り拓務大臣の責任と現內閣の政策につき快辯を揮ひ滿鐵は平和的に、經濟的に日支を結ぶ大使命を有するが故に充分監督して其の使命の達成に努力する覺悟である、と結び轉じて政策に移り政治は最高の道德にて公明ならざるべからず反對黨が不純なる動機、醜陋を以て來議會において政府に反對せば斷然解散して信を

國民に 問ふ意圖を有する而して選擧には各新聞が現內閣の緊縮政策を信じてゐるから充分勝算がある、公私經濟の緊縮は國家財政を根本的に建直すべき重大問題であるから全國民の一大覺悟を要すると獅子吼し急霰の如き拍手裡に同三時閉會した

金解禁に付き 重要な建言

山本男から首相に

【東京二十九日發電】民政黨長老山本達雄男は二十八日午後三時官邸に濱口首相を訪問し約一時間に亘り軍縮問題、對支問題、金解禁問題、疑獄事件の經過內容等につき首相より說明を聽取し種々懇談を遂げたが、特に金解禁問題に就いては內外の情勢は頗る順調に向つてゐる以上恰も玉手箱の樣にして何時迄も解禁の時期を不明にして置く事は面白くないから來年度豫算編成の出來るのを待つて豫じめ解禁の時期を明示し以て經濟界を始め天下人心の不安を一掃すべきである、即ち右は金解禁が何等投機的のものに非ざる重大事である以上帝國の現狀に鑑み最も必要であると信ずる旨の重要建言を試みた

軍縮會議招請狀 今明日中に發送

開催地は倫敦か

【ロンドン二十八日發電】五ケ國海軍々縮會議の英米側よりの招請狀は二十九日は三十日に日本、佛國、イタリーに向け發送さるべく豫想さる、尙右招請狀にて英米兩國は同會議を一月中ロンドンにて開く事を提議するとみられてゐる

我が諒解を得ず 輕鐵を敷設

吉長線長春驛から 東鐵寬城子驛まで

【長春特電二十九日發】吉林當局は豫て滿鐵附屬地を通過せずして吉長線長春驛から東鐵寬城子驛に至る鐵道敷設を計畫して居たが、愈々十月初旬から東鐵管理局をして輕便鐵道を敷設せしむるに決定した由である、右に關して土肥原長春地方事務所長は語る

未だ何も聞いて居ないが吉長當局からも何等諒解を求めて來ない、吉長線が滿鐵の委任經營である以上長春驛での聯絡は斷じて支那側の獨斷を許さない、早速調査して見やう

人事

▲松浦有志太郎氏(醫學博士、日本國民禁酒同盟會理事)二十九日ハルビン丸にて來連

安樂椅子

吳佩孚氏が四川に脚を踏込んで以來時に再擧が傳へられたりして忘れられた常勝將軍の追憶が蘇生る

▲目下氏は綏定河の石壩に煤ぶつて居るが流石は人氣者で西北問題が起つた際には蔣主席から迎へられて中原に乘り出すと云ふ噂もあり綏定を訪問した𦤶もある樣傳へられた

▲ところがそれは全くの噂と判り吳氏も大に失望したと謂ふ話であるから將軍依然として古の夢が醒めないと見える

本日聽報を添ふ

盛大だつた金州孔子廟の臨時釋典

重修成つて盛大に 孔子廟の臨時釋典
日曜日と秋晴れに人出多く 昨日金州城内賑ふ

【金州特電二十九日發】豫て重修工事中であつた金州城内孔子廟の竣成が出來上つたので、昨二十九日臨時釋典を執行することゝなつた、この日秋空高く晴れ渡り、正午よりいよく式は開かれた、日曜日にかてゝ加へて秋の金州と云ふのですばらしい人出で集まる者日支人有志六百名で太田關東長官も朝來より來金し、午前中は南山金州民政支署を訪問し正午から式に參列した、人出はいよく増し城壁の上に迄溢れると云ふ有樣であつて、太鼓は三百六十回殷々と響き渡る、關東州唯一の文廟の式典はかくて午後二時いとも嚴肅に終つた、そして式がはてると長官はじめ官民主だちたる人々の支那料理宴會が別席に於て開かれ、この佳き日を長閑に過ごした

葬儀委員長は高橋是清氏

偶葬儀準備につき二十九日午後六時より幹部會、三十日午前十時より常務員會、同午前十一時より議員總會を開く事に決定した

【東京二十九日發電】政友會緊急幹部會議は二十九日午後一時より高橋是清氏邸に開會、森幹事長より田中總裁の死去につき政府並に各方面に通知を發した旨報告したのち葬儀執行につき協議の結果、葬儀委員長に高橋是清、副委員長に山本悌二郎、高橋光威（或は森恪）氏を推すに決定し黨首問題等は葬儀後協議するに決した

黨葬告別式 來る十月三日に

【東京廿九日發電】故田中總裁の黨葬告別式は來る十月三日青山齋場で行ふに今日の本部會で決定した

濱口首相弔問 總裁邸大混雜

【東京廿九日發電】濱口首相は二十九日午後四時青山北町の田中政友會總裁邸を訪問し親しく反對黨首領の遺骸に弔意を表し感慨深げに辭去した、尚田中總裁邸は今朝來政界財界その他各方面の友人知己多數の弔問客殺到し頗る混雜してゐる

久原氏西下

【東京二十九日發電】田中政友會總裁死去につき久原房之助氏は二十九日午前十時東京驛發京都の西園寺公に報告に向つた

有難き御沙汰

【東京二十九日發電】田中政友會總裁死去の趣き天聽に達し生前の功勞を嘉せられ二十九日左の通り昇敍々勳の有難き御沙汰を賜つた

陸軍大將從二位勳一等功三級 男爵 田中義一
敍正二位（以特旨位一級被進）
授旭日桐花大綬章

金ピカ姿で 妾宅から參内し 家内の憤慨に閉口
人情味深く親しみやすかつた 『おらが首相』の逸話

【東京特電二十九日發】人情に脆かつた死んだ田中男は世間的にはいろくの評もあつた、殊にその過ぐる内閣の末路に於ては不戰條約問題、滿洲某事件、僞證問題等續出し、掛冠後は鐵道疑獄事件、小川前鐵相事件等の摘發されたことによつて全く氣の毒な程に人氣を惡くした、しかしこれ等も一體が

單純な性格

が禍ひして周圍の者に誤られたと云ふより外はない、個人的に見れば至つて磊落な人情味の深い親しみやすい好いお爺さんで、軍人としては大將まで進み政治家となつては直ちに內閣總理大臣の印綬を帶び公人としての生活に於ては非常に惠まれた人であつたが、家庭的には物淋しい運命に捉はれた人であつた、夫人ステ子（五〇）は久しい間の病氣で年中病床を離れず田中總裁が內閣總理大臣としてときめいた時も彼女に一度も公の席に連なつた事なく陰かに今の

モダン官邸

が出來上つた時召使の老婆一人を連れてほんの一寸の間見物に來た事のある位であつた、が田中男は首相當時官邸から引揚げて來れば勞はつた言葉を掛けたといふ、田中男は第二夫人の腹に出來たそうして田中男の相續者である目下成城中學五年生の龍夫君（一八）を非常に愛して腰越の別莊に伴はれることもあれば興津の西園寺公を訪問するときも引きつれて訪るやうにしてゐたものである、その第二夫人の許には首相當時隔日に寢泊つてゐたが、昨年の秋季皇靈祭に大禮服の金ピカ姿で第二夫人の家から參內したとて家內の憤慨をかつて閉口し第二夫人名の表札「田口」を

『田中別邸』

に書替へたことがある。內閣總辭職の決心を固めた日、道に暢氣な田中男もあの新らしい首相室で誰も近づくことを禁じて約三時間沈觀したといふが總辭職決定の悲報によつて森幹事長が飛んで來て總辭職か外の理由ならば仕方がないが國外に起つた滿洲事件であるとすれば將來の惡例にもなることでもあり辭職の必要は全然ないと憤慨氣味で詰寄つたところ、暫くうなだれて考へてゐた田中男は『おらは上皇室に對し奉りてこの道を採るより外はない』といつたといふ、あれ位世間的に評判のよくなかつた田中男にも皇室に對する觀念だけは全く平素から純忠的であつた

聖上陛下より 葡萄酒御下賜

【東京二十九日發電】畏き邊りにては田中政友會總裁病氣危篤の報を聞召され二十九日午前御見舞として葡萄酒一打を青山の本邸に御下賜あらせられた

筧侍醫を御差遣

畏き邊にては筧侍醫を御見舞として午後一時半青山の田中總裁邸に御差遣あらせられた

遺骸 本邸へ移さる

【東京廿九日發電】田中總裁は昨夜九時頃矢の倉の福井樓から青山の本邸へ歸宅せず麴町下六番町六十八、男の第二夫人出口女子方に入りそこで今朝五時發作を起したので死去後午前八時半青山の本邸へ遺骸を移したものである、第二夫人邸では故男の遺骸を送り出すと共に其の門を閉ざし一切の訪問を謝絕してゐる、尙死去は公人としての故男を思ひ本邸で死去したものとされたが警視廳では左の如く報告した

田中政友會總裁は昨夜矢の倉福井樓に於ける有馬賴寧伯の晩餐會に臨み午後九時頃下六番町六八の田中控邸（第二夫人邸宅）に歸り今朝四時頃狹心症を起し五時半死去、午前八時半青山の本邸へ遺骸を引取つた（既報浪人組招待は誤報）

田中總裁の葬儀 政友會葬で執行

【東京二十九日發電】田中政友會總裁の葬儀は政友會本部に於て黨葬を以つて執行する事に決定した

大連道場の紅白試合 柔道二段以下

昨二十九日午後一時より大連道場に於て幼年組及び二段以下の紅白試合が山田六段その他の審判の下に行はれたがその內一級以上の成績左の如し

紅		白
一級森谷		○一級田中
初段日野	×	同 田中
○二段春名		一級今井
同 春名		初段井崎
副將福田		○副將二段藤塚
同 福田		
○大將佐分利		同 藤塚
同 佐分利	×	大將平山

四時半戰ひは終り櫻井幹事の挨拶あつて試合は閉ぢた、尚幼年組は大熊君拔群に付きメダルを授與された

工專軍後半に振ひ快勝す
十一對六で大倶敗退 ラ式蹴球リーグ戰

ラグビーリーグ戰南滿工專對大連ラグビー倶樂部戰は二十九日午後二時十五分工專グラウンドで開始されたが十一對六、工專の勝となる閉戰同四時二十五分、レフエリー土井、線審、牛尾、日原、大倶風上に陣し工專のキツクオフ

工專 11 {3—3 / 8—3} 6 大倶

前半 開始後二分、大倶フリーキツクを得有田のキツクで敵二十五碼線に入りドリブル、TBパズに盛んに攻め五分右側ゴール前のルーズから出た球は北原—新城—有田—石川—藤田と左に渡り左隅五碼邊にトライ、ゴール成らず（三點）其後大倶桂の奮戰も空しく大倶FBの失に工專、大倶のゴール前に迫つた時石川の好キツクに一度は返したが工專依然優勢を持し二十分大倶ヂリくと攻めて漸く工專陣に入つたのも束の間工專藤島の好タツチとFWドリブルで再び大倶ゴール前に混戰する中五碼スクラムの球を工專の高瀨取り其の儘倒れ込んで右隅十碼にトライ、ゴール惜しくも成らず（三點）大倶石川、桂、北原の突進もフオローするものなく工專又もやゴール前に迫つたが大倶FWのドリブルで中央に返つた時ハーフタイム

後半 開始後三分大倶陣左側二十五碼線のルーズから出た球を工專の岩田取り右に廻つて奧にパス右隅五碼にトライ、プレースキツク入らず（三點）五分工專左側十碼のルーズの球は桂、有田、石川、藤田と右に渡つたが惜しくもドロツプアウトとなり其後一進一退する中、十八分大倶陣卅碼にての大倶TBのパスを工專藤島見事にインターセプト（橫取）して快足を利してポスト直下にトライゴール成る（五點）二十二分大倶新城自陣より單身ドリブルに出で工專TB線を拔いたが惜しくもゴール前につぶされ工專直ちにFWドリブルに盛返し敵ゴール前に迫つたがドロツプアウトとなり尚ほも大倶陣に戰ふ中二十九分大倶石川工專のキツクの球を取り巧みにダズルして藤田にパス藤田長驅四十碼右から廻り込んでポスト直下にトライ（三點）ゴール成らず其後工專FWドリブルに攻め入つた時タイムアツプとなる

工專 FW 宅山川田田林瀨田山倉島田 HB TB FB 龍三橫田前橫中高吉小澤吉奧宮 崎
大倶 FW 口川田咲井田原井 HB TB FB 野北內木白前北酒桂新有石藤村 藤城田川田上

審笛 未だ寄り合世帶の感を脫し得ない大倶の敗北は致し方ないとして今日の工專の戰ひ振も決して上出來とは言ひ得ないであらう▲大倶のあの弱いFBをなぜもつと働かなかつたか大倶のサードローがオフサイド氣味にまで前に出てハーフの球をつぶしてゐた時にも球のキープを忘れたのはエイトシステムを臺無しにしたものではあるまいか▲工專のTB線殊に藤島、岩田は實に上手かつたがハーフ線との連絡に今一層の努力を要する▲大倶では本日の船で着いた許りの桂を始め有田、石川、北原の老巧連が活躍をした▲リーグ戰での何なり重要なゲームである今日の一戰が可なり騷がしく三四のプレヤー等もプレー以外の事を口に出して騷いでゐた事はラグビーの神聖のために切に反省を促してやまぬ

三A—二で 大連實業敗る 對撫順滿倶戰

【撫順特電二十九日發】大連實業對撫順滿倶野球戰は廿九日午後三時十五分より球審香川、壘審村上

バツテリー 實業（木下、渡邊）撫順（森內、渡邊）實業先攻にて開始、三回まで兩軍無得點、四回裏撫順二點を先取、五回表實業二點を奪回、六、七、八、九回とも兩軍の奮鬪空しく補回戰に入り十回裏撫順軍滿壘となり實業の危機を救ふべく岩瀨プレートに立ちしも其の甲斐なく三A對二にて撫順勝つ 閉戰五時四十分

午後の成績 中等校競技會

廿九日大連運動場に於て擧行された州內男子中等學校聯合陸上競技會午後の部の成績左の如くであるが、大連二中が最も成績良好であつた

▲四百米決勝 一着麻生（大二）タイム五十五秒四、二着宮前（大一）、三着堀部（大商）
▲三段跳 一等最上（旅一）十三米三六、二等寺井（大二）十二米八五、三等近藤（大二）十二米六八、工藤（大商）十二米六八
▲千五百米決勝 一等奧井（大二）タイム四分三十九秒二、二等深町（大二）、三等白川（大一）
▲走高跳 一等深川（大一）一米七〇A、二等大崎（大二）、二等最上（旅一）
▲八百米リレー 一着大連商業タイム一分三十八秒四（井上、堀部、長尾、鈴木）二着大連一中三着大連二中

滿倶快勝す 對龍鐵一回戰 五A—一

【京城特電二十九日發】滿洲倶樂部對龍山鐵道局第一回野球戰は廿九日午後三時より京城グラウンドで鐵道局先攻にて開始、滿倶軍終始リードし五A對一で滿倶軍の大勝に歸し五時三十分閉戰した、スコアー左の如し

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
滿倶	0	1	0	3	0	1	0	0	A	5
龍鐵	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

瀋海鐵路公司の國際的競爭入札
機關車十輛を購入す 沙河口工場に落札か

瀋海鐵路公司では曩に同鐵道用としてミカド型機關車十輛を購入するため日、米、獨、白等の信用ある製作所をして國際的の競爭入札をなさしめ去る廿六日午後同公司總理室に於て入札者全部立會の上開札したが其の結果入札者十三名の內沙河口工場入札のものは瀋陽驛渡し金七萬四千九百圓にて入札中最も低廉なるのみならず納入期間も亦最も短いことが判つた、同公司では目下仕樣書其他に就き最も公平嚴正に審査中であるが沙河口工場の入札は右の如く價格に於ても納入期日に於ても有利なる上製品の優秀な事は內外の等しく認めてゐるところであるから、審査の結果は當然同工場の製品が購入されることになるであらうと

育成對工專B組 練習ラグビー戰

工專對大倶ラグビー戰に引き續き二十九日午後三時半より育成學校對工專B組の練習戰が行はれたが三對零にて育成の勝となつた、時に閉戰四時三十分 レフエリー石川

育成 3 {0—0 / 3—0} 0 工專B

大分縣下に 競馬疑獄 縣會議員檢擧

【大分廿九日發電】大分檢事局では數日來縣刑事課と密議を重ねてゐたが右は宇佐神宮神苑に於ける公認競馬問題に絡まる疑獄事件にて今朝政友派縣會議員江藤忠藏氏が別莊に潛伏せるを檢擧收容疾風迅雷的活動を開始した當地方としては重大事件として各方面の注目を集めてゐる

三木選手優勝

【ウインブルドン二十八日發電】當地に開催せられたるテニス選手權競技會の本日の決勝に於て日本三木選手は左のスコアーにてイギリス選手ゼー、エツチ、フラウエン大尉に勝つた

三木 六—二、六—二、二—六、四—六、七—五 フラウエン

尚唯決勝にて太田選手は肩の筋を痛め出場不能となつた

臨時競馬 盛況裡に幕を閉づ

臨時競馬第六日目—二十九日午後は何分にも日曜日のうへ最終日のため觀衆非常に多く各優勝レースに熱狂し馬券の賣れ行きも素晴らしく、午後五時には太田關東長官が小川殖產課長や田中大連、藤原旅順兩民政署長、西山、藤田兩課長を伴ひ來場、第十二、三兩競馬を見物した、當日の優勝レースには第五競馬驅足速歩競走一着千里（關東軍司令官寄贈盃）馬主齋藤庚氏小田騎手、第十競馬一着叶（競馬倶樂部賞）馬主宮崎惠一氏田中騎手、第十一競馬一着豐（大連市長寄贈盃）馬主藤井龜次郎氏內田騎手、第十二競馬一着武幾鷄矢（大連農會寄贈盃）馬主荒井卯三郎氏岩淵騎手が各獲得した、なほ當日の總賣高は五萬三千四百十八圓にて今期競馬中の最高レコードにて累計二十二萬九千七百九十四圓で午後六時閉會した

▲第五競馬（驅歩速歩）優勝レース第一着千里（十一分九秒一）第二着白虎第三着博多、配當五圓三十錢
▲第六競馬（秋抽）千六百米第一着白龍（二分二十一秒四）第二着濟（鼻）第三着蓬萊、配當十五圓十錢
▲第七競馬（各抽）千六百米第一着辨天（二分十四秒一）第二着三笠（四馬身）第三着惠以、配當四圓八十錢
▲第八競馬（秋抽）千六百米第一着曙（二分廿三秒四）第二着（首）第三着翠、配當四圓二十錢
▲第九競馬（各抽）千六百米第一着旭（二分十二秒一）第二着更科（四馬身）第三着淡月、配當五圓六十錢
▲第十競馬（秋抽）優勝レース二千米第一着叶（二分四十九秒一）第二着共和（大差）第三着春日、配當三圓十錢
▲第十一競馬（各抽）優勝レース第一着豐（三分二十一秒四）第二着桂（半馬身）第三着天龍、配當一着三十圓二着三十圓
▲第十二競馬（古呼）優勝レース第一着武幾鷄矢（三分六秒）第二着隆洞（大差）第三着鍾馗、配當四圓四十錢
▲第十三競馬（各抽）二千米第一着寶戶（二分五十秒）第二着一姬（鼻）第三着初風、配當十九圓
▲十四競馬（秋抽）千六百米第一着保津（二分廿四秒）第二着美勝（半馬身）第三着千早、配當五圓

軍規を亂す社說に處罰

【パリー廿八日發電】當地共產系新聞ユーマニテ社說記者ボウルジアニー氏と支配人アリスチード、デニー氏は軍規を亂さんとする煽動的社說を發表した廉でジアニー氏は三年の禁錮、デニー氏は二百フランの罰金に處せられた

燕と駈け落ち 埠頭で捉まる

神奈川縣川崎市在住の若槻フミ子（二七）は銀行預金八百圓、郵便貯金五百圓を携帶十も年下の若槻博（二〇）を同伴二十九日午前入港のはるびん丸に夫婦と稱して戀の道行きを極め込んでゐたのを豫て極秘裡に神奈川警察署よりの打電により手配中の水上署員の手に發見取押へられた

自轉車衝突

二十九日午前十一時五十五分ごろ大連埠頭港岸工事高岡組使用支那人戴福（二三）は自轉車に乘つて港橋から東廣場に差し蒐つた時操縱下手な爲め通行人の日清油房苦力王洪義（二七）に衝突し兩名とも橫倒れとなり戴福は前額部および顏面に輕微な擦過傷を受け王洪義は左眼尻に治療二週間を要する擦過傷を蒙つた

けふのラヂオ

昭和四年九月三十日（月曜日）
自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後零時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後七時
一、ニユース
二、露語講座 第十九課、大連語學校、グローストン
三、講話 選宮御木曳の話、伊勢の人、結城實之助
四、修養講話 金解禁と魂の解禁 基督教青年會總主事、中川竹太郎
五、長唄 秋の色種、唄牧野太郎、三味線吉田石子、上調子野田夫人
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

満日地方版

長春

八名の候補者 所信を披瀝
立會演説會の盛況

青年聯盟長春支部主催地委候補立會演説會は廿七日午後七時から演藝館に於て開催した、時節柄聽衆は堂に滿つる盛況さであつた、出席候補者八名、先づ上野幹事の開會の辭、後藤幹事の缺席者の缺席理由報告あつて齋藤順治君登壇交通機關と土地繁榮策並びに貿易振興との相關々係を述べ鐵道と地方利害とを更に接近させる要ありと結ぶ

赤羽一二君 自分は元來訥辯であるから不言實行でゆく誠意丈けを買つて貰ひたいと簡單な挨拶

山下藤藏君 自分は二十年長春に居るが社會的に何事も爲さなかつた、又本年春以來重患を煩ひ到底恢復の見込なしと信じてゐたが偶然にも一命を助けられたので報恩の爲め余生を社會の公僕として捧げると述べ

駄場仙英君 滿洲は自治とは名のみで全く骨拔きとなつてゐる、小骨の殘つてゐる朝鮮にも劣る、地方委員會は更に改善してもつと民意に副ふやうにすべきであると述べ

張汶翰君 私は在滿鮮人百五十萬の救濟を唯一の使命として地方委員に出た、朝鮮總督府は在滿鮮人救濟と稱して年々百五十萬圓を計上してゐるが大部分は情報費に費されてゐる、外務省の方針亦不徹底にて實績を擧げてゐない今日滿鐵にしがみつくより外に道なしと信じて過去二ヶ年間努力したが、充分の效果がないので再出馬した

加藤金保君 地方委員會の提案を見るに常に涙としてゐる、表看板許りでなくもつと内容がほしい

得丸助太郎君 地方委員會改善については意見もあるが然し地方委員會を地方事務所長の單なる諮問機關なりと斷ずるは誤りであると地委無用論に一撃を叩へ叩頭政策や御馳走政策を罵倒

宇野常吉君 長春繁榮策のため誠心誠意努力すると簡單に述べて降壇

右終つて有權者の一人藤田藤助君が種々希望を述べ、最後に樺島幹事閉會の辭を述べ午後十時散解

領事の更迭期

長春領事の更迭は後任田代領事の赴任が遲れるので十一月上旬行はれると

奉天

遷宮祭遥拜式と 御慶事奉祝方法
廿六日協議會で決定

廿六日午後二時から地方事務所に山内神職、上田區長代、樋口民會理事等參集し神宮式年遷宮祭に關し打合せをなし、更に皇后陛下御慶事の奉祝に關する準備協議會を開き左の如く決定した

▲遥拜式に關する注意事項

一、遥拜式奉行日時 十月二日午後七時(皇大神宮遷御)同五日午後七時(豐受大神宮遷御)

二、遥拜式參拜方市民に對する周知方法 遥拜式奉行委員長林久治郎の名を以て參拜方當地各新聞にて報告す

三、國旗揭揚 兩日共各戸國旗を揭揚すること

四、遥拜式場設備 奉天神社境内に盛砂その他必要なる設備をなすこと

▲御慶事奉祝に關する準備會議決定事項

一、市民に對する周知方法 地方事務所並に居留民會は官憲側並に新聞通信社側と聯絡をとり御慶事を知りたる時は直に左記の手配をなす事

(イ)電話通知 地方事務所より各區長へ各區長は更に各町内會長へ居留民會より民會側各區長へ、(ロ)煙火打揚 打揚場所中央廣場、打揚數親王にあらせらるゝ時は三發内親王にあらせらるゝ時は二發、(ハ)爆竹打揚 打揚場所各派出所打揚數(ロ)に同じ

二、國旗揭揚 市民御慶事を知りたる時は各戸直に國旗を揭揚すること揭揚期間は當日、但し御慶事夜間の時はその翌日

三、賀詞言上 總領事官民を代表して賀詞を言上すること

四、奉天神社における奉告祭 午前十時執行、市民參拜のこと

以上の外御命名式の擧げさせらるゝを俟ち更に奉祝方法に關し協議をすることになつた

共産黨員引渡

本月一日撫順を中心とする共産黨

鞍山

鞍山を中心に 秋季大演習
獨立守備隊および通信隊が 來る十月上旬ごろ

本年度第十六師團管下の師團通信隊演習及獨立守備隊の聯合演習は十月上旬鞍山附近に於て擧行されるが統監部は近江屋旅館であつて通信隊は扇屋旅館及紅葉館に決定し、參加兵員は將校以下八十二名である、獨立守備隊は四日より十四日まで十一日間鞍山を中心として秋季大演習を擧行さるべく參加兵員は將校以下一千九百餘名にて馬匹百六十餘頭を有し鞍山室集合社宅を使用することに決定した

遷宮式の遥拜

十月二日は皇大神宮遷御に付き鞍山神社に於て……

志村局長送別
二日扇屋旅館で

鞍山郵便局長志村重二氏は既報の如く關東廳事務官に榮進し勇退の上近く離鞍するので十月二日午後六時より敷島町扇屋旅館に於て送別宴を催すと有志の方は三十日午後四時までに左記に申込れたしと

製鐵所事務課庶務係(社三番、地方事務所庶務係(社九三、公四五四)實業協會(公三九)

笑和會の送別

鞍山笑和會では志村郵便局長の送別會を兼ね三十日午後六時三十分より高町倶樂部に於て例會を催すと

哈爾賓

西比利に在る 支那人の窮状
乾干になる者が多い

ハバロフスク、ブラゴエ其他の都市村落で働いてゐた支那人勞働者が黒河を經てハルビンに避難し來り行政長官公署を訪ねて壓迫されてゐる支那人の窮状を訴へ出た、其れによるとハバロフスク市一帶の支那人は約二千名ばかり拘禁され下級勞働に從事してゐるが、一日パンは一フント二分の一にスープは鹽けもない水ぼいもの、何しろ二千名のものにスープの材料が痩せコケた牛の頭が四ッ、これに水を增して煮つめたもので脂肪分なんかは見ることはできない、其れにパンの中には雜草が混つてあつて喰へたものではない、大抵のものは病氣に罹つて乾干になる、これで冬が來れば營養分の缺乏で死亡者が多からうと、沿海州方面ではソウエート其れ自體が食糧難に惱まされてゐるのだから捕虜と考へてゐる支那人によい待遇が與へられると想ふのが間違ひだとの話

營口

支那人側から 突如立候補
運動漸く猛烈の地委選擧戰 大番狂せを演ぜんか

一般に氣乘しなかつた地方委員選擧も時日の切迫と共に急に數名の立候補を見るに至り運動も漸次激甚を加へ來つたが特に今まで一回も立候補しなかつた支那人側からも機運の釀成に驅られて出馬を宣言し、日昌棧執事馬子明氏が居住支那人に推されて立候補するに至つたので、今まで支那人方面に喰ひ込み當選確實と認めて枕を高ふして居た邦人候補者も之が爲に地盤を根柢から覆へされ、大騷ぎを演じて居るが若支那人側が一致團結して馬子明に投票するに至らば大番狂はせを見るに至るべしとて各運動員は何れも必死となつて警戒線を固めて居る

義勇軍歡迎會

廿六日午前十時から全哈學生聯合會の主催で新市街公共禮場で馮大學義勇軍の大歡迎會を開催したが多數の演説あり學生聯合軍側代表の謝辭に散會したが、午後は傅家甸に於て外交協會の歡迎會あり民衆的自營の熱を沸騰せしめた、廿

◇

滿鐵消費組合では社員會の申込により態度決定のため近く總代會を開く事となつたが之に先立ち各組合員の意見聽取中である

◇

地方事務所では十月一日行はれる地方委員選擧の立會人として富村順一、峰節翁、木下亮九郎、上田統の四氏に決定した

◇

市内稻葉町十一番地高橋慶造妻みよし(四二)は廿七日午前十一時頃現金八十圓を携帶し家出した

町の便り

奉天圖書館では十月一日から十日まで暴晒書並に點檢のため休館する由

◇

當地商工會議所主催朝鮮博覽光團は目下募集中であるが、出發は十月十一日午後の急行で京城に二泊の豫定である會費卅四圓、申込締切七日限とし會員外でも差支ないと

員大檢擧の際奉天に於て逮捕された市内紅梅町七濃醫見習ひ藍鐵九(二二)その後奉天署に於て嚴重なる取調べを受けてゐたが、大體の取調べを了したので廿七日支那側に引渡した

人事

▲保々滿鐵地方部長 廿八日朝來奉ヤマトホテル

▲山崎代議士 廿八日大連より來奉

▲石本滿鐵情報課長 廿八日朝奉來

▲萬洮鐵路局長 廿八日急行にて來奉

▲足立同顧問 同上

▲宇佐美鐵道部長母堂 廿八日過奉歸連

▲田原拓務省書記官 廿八日安奉線急行にて五龍背へ

▲鎌田元公所長 廿八日大連へ

濱江雜俎

七日は一般休暇で午後からは各倶員がキタイスカヤ其他を散步し買物をした

八萬キロ二萬五千里を踏破したチエッコスラバック生れのボスピスル青年とウウブル秘書は目下ハルビンに滯在し寄附を求めつゝあるが二個年前外蒙古を遊歷し南洋諸島臺灣等を經て北滿に來り近くチチハルから洮昂線で南下北平に至り米國に向ふ豫定であると語つてゐた

◇

全國學事視察團一行十二名は十月十一日チチハルから來哈し北滿の學事状況を視察

◇

鐵道教習生八十名は十月三日來哈の筈

◇

田原利男氏拓務省書記官十月六日來哈し状況調査の上八日南下

◇

獨逸の東方保證借款銀行支店開設は未だ其の域に達してをらぬので多分設立しないことになつた

◇

滿鐵事務所庭球チームと對抗築島カップ優勝戰は廿八日決戰

◇

ソウエート國人民の東支從業員が失職して歸國するが滿鹽は生活するに不充分であるため外蒙ウルゲに集合せしめることになり、既に多數の避難者が收容されてゐる

鄭事務官來營

全滿在住朝鮮人の状況調査の爲來滿中の鄭朝鮮總督府事務官は田莊臺居住鮮人の情況を調査すべく二十七日二十二時二十分着列車にて來營驛頭には荒川領事、青木書記生出迎へ清林館に入り數日滯在調査中である

二十六日より着手したが竣工は十一月十日頃なるべしと

鐵嶺

身柄全部を 支那側に引渡す
暴行した公安局員

日支衝突事件の關係者として憲兵隊に拘引留置されたる者三十六名のうち既に十四名は放還せられ殘る二十二名に對しては引續き取調中であつたが、支那側からは頻りに身柄引渡しを懇請して來る爲め憲兵隊でも二十八日一先づ取調べを打切り午後二十二名全部を釋放する事となつて鐵嶺領事館警察に引繼ぎ、警察では更に午後五時支那官憲に對し全部の身柄を引渡した、これで日本側に留置せる者一名もなく今後は專ら事件の交渉に移るであらう

忠魂碑移轉
愈工事に着手

旭公園忠魂碑移轉工事は九月十二日附を以て其筋の認可ありたるにつき愈々該工事に着手することとなり廣岡勘一氏が工費一千三百六十九圓七十錢にて請負ひ同工務所は

遷宮祭と 御慶事
奉祝の方法

來る二日の遷宮祭遥拜式並に近づく國母陛下御慶事奉祝に就いて二十八日地方事務所に於て官民代表者協議の結果左の如く決定した

▲遷宮式年祭遥拜式 十月二日午後七時より鐵嶺神社に於て擧行市民は擧つて列席各戸には國旗と奉祝提灯を揭揚す十月五日は豐受大神宮遷御につき各戸は國旗及奉祝提灯揭揚の事

▲御慶事の速報と奉祝 國母陛下御慶事に關しては成子内親王御降誕の方法に鑑み機關區の汽笛を一齊に鳴らして御慶事を速報し親王御降誕なれば一聲二分間内親王御降誕には斷續二分間とし市民は速報と同時に國旗を揭揚奉祝する事に定めた

御命名式の當日には鐵嶺神社に於て奉祝遥拜式を擧げ、親王御降誕なれば公會堂を會場として官民聯合の奉祝宴を催すべく決定したが、奉祝遥拜式並びに奉祝宴の日時等は追つて協議する筈

增設中隊事務所

增設鐵嶺守備二ヶ中隊は三十日より北兵營を事務所として執務する事に決定したが二ヶ中隊編成後も北兵營を守備隊として使用されるであらう

國防思想映畫

鐵嶺在郷軍人分會では來る一日晩公會堂に於て國防思想普及の宣傳映畫を無料公開する由なるが場内整理として一名より金十錢宛を申受くと

營口雜聞

營口驛にては鐵道部主催の朝博觀光團募集中▲昨二十八日夕刻までの有資格者數は五百八十二名である▲實業補習學校の第三十一回修了式は二十八日午後七時小學校講堂に於て擧行された▲當地郵便局主事有田正一氏は蓋平郵便局長に榮轉後任は大連郵便局より田家書記來任の筈▲關本所長は任期滿了の慰勞として地方委員を武藏野に招待の爲二十七日出連三十日頃歸任の筈▲東亞煙草營口販賣所主任小池森三氏は二十八日奉天に出張した▲新任電話局長大村貞平氏は新任挨拶の爲め下瀬庶務主任同伴各方面を歷訪した

撫順

時候はづれに 狂ひ出した
―男と女のキ印―

二十七日午後二時頃嚴重なる手錠をはめられた一怪漢が西公園下を南臺町方面へ韋駄天の如く疾走しつゝあるのを認めた通行人や警官がすはこそ重大犯人の逃亡?と自轉車その他で追跡漸く逮捕し取調べて見ると西十條通五十五番地石炭請負業山本政雄氏弟川本七郎(三七)と言ふキ印で留置場ならぬ座敷牢を破りと判明、實兄を呼び出し引渡したが、この狂人は二十八日の午後零時半頃亦も手錠姿で堂々と俥に打乘り高女前を東へ急ぐ處を取押へられ漸く家人に引渡した

◇

次は二十八日午前十時頃折柄展覽會開催で雜沓中の女學校へまぎれ込み女に似合はしからぬ大騷ぎを演じた女があつたこれは大官屯居住繩ヨシ子さんといふ女キ印と判明、時候に似合はしからぬ男女一對の狂人が世間を騷がしたこれは近頃珍らしい事である

嚴重取調べると實はこいつ女に似合はぬ大酒喰らひで同日夕刻西三番町の支那酒店で支那酒約一升五合をベロリ平げいゝ氣になつて西公園をうろついてゐたが苦くなり一休みしてゐる處へ馴染男が來かゝつたので一つ親切氣を試驗しやうとの狂言と判明大日玉を喰つて幕、とは手數の掛る猩々女である

大連實業對 撫順滿倶
本年最終の 野球戰開始

滿州外ファンの待ちに待つた大連實業對撫順滿倶の野球戰は秋晴續き二十九日午後三時二十分から永安原頭に於て行はれたが何分實力伯仲の間にある兩雄が相見ゆる事とてファンは定刻前より球場さして雪崩込み、全く撫順としては未曾有の盛況を來し本シーズン最終の人氣を呼んだ

猩々女が 自殺の眞似
男心を試すため

二十七日午後九時四十分頃西公園下山陽樓近くの草叢にうら若い女が倒れて苦悶しつゝあるのを通行中の山城町三丁目四龜井春吉が發見近寄つて見ると新揚町三十七「梅の家」抱へ太郎(二一)と云ふかねて馴染の女なので事情をたづねると

ある事情で毒藥自殺を計り今ストリキニーネ二瓦程呑んだ所だと言ふので男は仰天し早速近くの天生醫院にかつぎ込むと共に急報警官立會の上胃洗滌を行はんとした處

何故か極力是を拒むを以つて人命には替へ難しとあつて強制胃洗滌を行つたが吐き出したものは二三合のチャンチウと夕飯粒許りの飯粒許りなので怪しと睨み

安東

守備新兵檢閲
廿七日實施さる

安東守備隊新兵第一期檢閲は二十七日實施されたが檢閲官は山口中佐、補助官鈴木少佐、羽山大尉、松本大尉で第六大隊將校全員見學として參列した、檢閲は各個教練分隊小隊教練鐵道警備教練等に亘り午後十時良好の成績で終了した

金剛山見物團
來る三日出發

安東驛主催安東山岳會後援の金剛山見物團一行二十四名は原田驛長引率の下に十月三日午後五時二十五分出發する事となつたが一行中にはすみれの女將五龍閣の女將等もあり鋭ぁ足馴らしに一生懸命になつて居る

芝崎氏令孃訃

安東領事館在勤副領事芝崎路可氏愛孃千鶴子さんは滿鐵醫院に入院中の處藥石効なく二十六日午後五時二十分永眠した、葬儀は二十八日午前九時覆市街十家溝西山商科中學校直下の天主教會堂にて盛大に營まれた

安義雜聞

安東守備隊附内堀特務曹長は二十六日新設第六大隊第四中隊附を命ぜられた

◇

貴族院議員倉地鐵吉氏及日課協會主事關※齊一氏の兩名は十月三日夜過安南行する筈

◇

全國學事關係滿鮮視察團一行十名は十月三日京城より來安一泊の上四日午前十一時四月分發奉天へ向け出發

◇

新義州消防組は二十八日公會堂廣場に秋季演習を擧行、午前八時モーターサイレンを合圖に各部とも現場に參集し人員點呼、服裝器具の檢閲をなし玉落しの放水等を演じた

◇

安東署劍道教師松島力之助氏は腎臟炎にて西川醫院に入院加療中一時は危篤を傳へられたが最近稍快方に向ひつゝあり現在の調子なれば近日中に退院の運びに至るであらう

愛慾の窓 (115)

戸川貞雄作 浅枝次朗畫

結婚 (一四)

龍吉の手には、ギスギスと青く光る匕首が握られてゐた。

「……草野さん!あんたも龍吉の根性骨に知つてゐる筈だ!」

彼は呻くやうな聲で云つた。絶望的なひゞきの籠つた聲だつた。

「……危い!龍吉君!僕の惡い點はどんなにでもしてあやまるよ!だから君もそんなに自棄にならないで……」

久彦は喘いだ。

「それよりも、それよりも、其任からう!今夜は、婚禮の晩だよ!婚禮の晩だよ!小森薬舗が友永倭文子を妻とする最初の夜だ!その晩にさ、僕が殺される……ハッハ、、、!それもまたよからうではないか!」

醉か、急にくらくらと全身の血を沸きたぎらせて來た。久彦は、もうどうなつてもいゝと思つた。

「……草野さん!おれも死ぬんだよ!あんた一人を殺して、おれは逃げ廻る氣はないんだ!あんたを殺せば、おれもこの場で死ぬつもりさ!死ぬなんて、何でもねえことなのさ!おらアしよつちう命を投げ出して生きて來たんだからね!」

龍吉も笑つた。凄慘な笑顏であつた。

「はツはゝゝゝ!」

「はツはゝゝゝ!」

彼等は世にも奇怪な笑ひを笑つた。次の刹那、龍吉は滿身の稀氣を匕首の双先に籠めて、久彦の體にぶつからうと身構へた。

扉が、パツと鳥の翼のやうに開いた。そして飛鳥のやうな素早さで、鳥打帽を眞深にかぶつた二人の背廣服の男が躍り込んで來た●間一髮だつた。龍吉の體はその二人の闖入者のために、床の上にねぢ伏せられた。

「……抵抗するとひどい目にあふぞ!」

太い聲が聞えた。

床のリノリウムの上に、匕首が突きさゝつた。柄を龍吉の手が摑んでゐる。その手を横から逞しい手が握つた。匕首は床に突立つたまゝ殘された●いつか龍吉の手頸には、捕繩が喰ひ込んでゐるのだつた。

「……龍吉!また世話を燒かせたな、困るぢやないか!」

鋭い眼に、微笑を見せて、刑事の一人が云つた。

「多分、今夜はこゝだらうと思つて、張込んでゐたんだ。三保の療養院からお前が脱走したから取押へてくれといふ電話があつたんだよ!」

「……用が片附き次第、歸るつもりでゐたんだよ!でも、警察で世話を燒いてくれりやア、文句はねえや!まだおれの用は片附かねえけど、刑務所へでも療養院へでも歸つてやらうよ!」

龍吉は太々しい調子で云つて、刑事の顏に蔑みの眼を投げた。

「文句は警察へ行つてから聞くことにしよう。いや、どうもお騷がせをいたしました。君、その兇器を押收してくれたまへ!」

と、刑事は久彦と他の刑事とに云つて、繩の端を手帛で押拭つた。

「……一寸、お待ち下さい!」

久彦は漸く我に返つて、龍吉を引立てゝゆかうとする刑事に聲をかけた。

大切なことは、美知子さんの消息を二人でさぐることなんだ……」

「……卑怯者!今更そんな言譯なんか肯いてゐられるか!おれはもう肚をきめてゐる……」

その時、ノックの音もなしに、その隙扉が細目に引明けられて、その間から、光つた眼が覗いたのを、龍吉も久彦も氣付かなかつた。

龍吉は、逆手にした匕首の手を自分の胸に添えて、双先を久彦の方に向けたまゝ、一歩二歩、詰寄つていつた。近づいてゆくと同時に、全身の力で相手に體當りをくれ、同時に匕首の双先が、相手の心臟をグサと突き刺すといふ構へなのだ。

「……あゝ、君は、どうしても僕を殺して、鬱憤を晴さうといふんだね!」と、久彦は呻いた。呻きながら彼は微笑んだ。デスペレートな微笑であつた「……それもよ

新刊紹介

▲性篇(健康增進叢書第五卷)永井博士は「兩性問題と遺傳及び優生學」に就て、杉田博士は「病的情慾心理」に就て、松浦博士は「禁慾及節慾」に就て片山博士は(廢酒)に就て土肥博士は「性と性病」に就て何れも極めて判り易く述べてゐる萬人必讀の好著である(大阪毎日新聞社及東京日々新聞社發行、豫約一冊金七十錢)

▲松尾芭蕉の話(民衆讀本第十六卷)村上直次郎氏の著作で俳聖のアウトラインをよく描いてある(東・市小石川區丸山町一一二 筱樂社發行定價金二十二錢)

滿日文藝

滿日俳壇
島田青峰選

月

○ 大連 和田鳥峰
しらじらと昇る煙や月の原
林檎や月に高鳴る胡弓の音
月代の片側町を戻りけり
黍刈つて隈なき月や海島

○ 撫順 松尾天草
月の道しばらく行きし社宅町
橋上や水に浮きたる月圓し

○ 旅順 中谷雀吼
岩あらふ波のしぶきや月今宵

○ 大連 高木春藍
月影を宿してゆるき大河かな
いさゝかの芒挿したり望の月

○ 奉天 小栁湖水
大江や月を浮べて流れ行く

○ 大連 高杉牧羊城
滿月や飛込臺の殘り居る

○ 興安嶺 西作句王
山の端の白樺にかゝる宵の月

○ 大連 岡部紅花
滿月や木の間木の間に見え隱れ

○ 大連 齋藤光丘
うすれ行く雲間を出でゝ二日月

○ 熊岳 伊與部笑螢
虫籠の虫死にてより月の夜

○ 旅順 大和青風
露載せて蓮の葉揺らぐ月夜かな

夕刊
滿洲日報
九月二十九日

上海臨時法院の改組會議に列國は賛同
日本も參加して南京で開く
領事裁判權囘收の前提

【南京廿八日發電】領事裁判權囘收の前提たる上海臨時法院組織改正に關する支那側の照會に對し本日北平公使團首席オランダ公使から各國が代表を派遣し協議するに賛成なる旨外交部に回答し來つたので外交部では會議を開く準備に着手した、支那は從來本問題から日本を除外してゐたが會審衙門を臨時法院に改める時該協定に日本も調印してゐる關係から日本を參加せしめる事となり一兩日中に外交部から日本以下の關係九ケ國に照會を發することゝなつた、會議召集の地點は南京に決定してゐる

交渉署廢止の過渡辦法に抗議
近く外交團から

【上海二十八日發電】外交部が支那各地の一般交渉署を八月末に特派交渉署を年末迄に廢止に決し過渡辦法九ケ條を發布せるは既報の通りであるが、支那側の意圖は交渉署廢止により事實上の治外法權一部撤廢を列國の承諾に先違て實行せんとするカムフラージである、即ち該辦法は交渉署撤廢後における外人關係の案件は法律で制限するものを除き支那人同樣に處理する、第六條交渉署撤廢後未だ完了せざる外支人の訴訟案件は各省の特派交渉署に引繼特派交渉署撤廢後は一律に相當の法院に移して處理せしむと規定し居り、右二項が各國の條約上の正當な權利に抵觸するは明白にして上海領事團の意見之に一致し公使團に報告し公使團から近く正式に外交部に抗議する筈である

田中政友會總裁今朝急病にて逝く

（東京二十九日發電至急報）田中政友會總裁は今朝五時半狹心症のため突如逝去した（號外再錄、寫眞は逝ける田中前首相）

田中邸弔問客で混雜

【東京二十九日發電】政友會總裁田中義一男は昨夜紅葉館に前政友系知事の浪人組五十餘名を招待し十時頃歸宅就寢したが持病の心臟狹心症が起り遂に二十九日午前五時半青山の私邸にて逝去した、享年六十七歲、同邸では朝來政友會幹部其の他朝野の弔問客に混雜してゐる

三回目の發作

【東京二十九日發電】田中政友會總裁の急變は全く狹心症に依る心臟痲痺であるが、田中男の狹心症發作は今回で三回目であり昨年御大典の折京都で發作を起した時醫者から此の次發作があれば今度は遺言をする暇もあるまいと危險を注意されてゐたものである、其の後絕えて發作なく油斷して昨夜紅葉館にて大杯を擧げた爲め此の急變を見たものらしい

死因に疑點はない
宇垣陸相語る

【東京廿九日發電】田中男の逝去につき宇垣陸相語る
いや眞に何と申上げて良いか判らぬ、今朝自分に知らせがあつたので直ちに青山の本邸へ驅付けて悔みを述べてから歸りに永田町官邸に濱口首相と相談した譯である、世間では死因に就て奇妙な噂もあるが自分が實際見た處に依れば決してそんな模樣はない

故總裁の敍位奏請

【東京廿九日發電】田中政友會總裁今朝五時半急變の旨山口義一氏官邸に出頭鈴木書記官長に屆出でたるを以て、濱口首相は正午宮中の御都合を奉伺し參內の上田中總裁逝去の旨上奏し且つ左の如く敍位の御裁可あらせられ度き旨を上奏した

從二位勳一等功三級　陸軍大將　田中義一
敍正二位授旭日桐花大綬章

心臟痲痺を起して急死
醫者は間に合はぬ

【東京二十九日發電】田中政友會總裁は昨夜紅葉館の浪人組知事招待後更に福井樓に赴き同會幹部連二十人程と宴會をなし田中總裁は非常に元氣で大いに杯を擧げ現下の政局に對し自己の抱懷せる意見を漫々と述べ自分は此のため辭職するやうなことはせぬと氣焰を擧げ近頃珍しい上機嫌で歸つたのであるが、午後十一時過ぎ青山の自邸に歸り寢につき今朝五時前まで異狀なく家人も熟睡してゐるものと思つたところ、午前五時頃に「ウン」と苦悶の叫びを發したので家人が驅け附けたところもう息がなかつた、田中氏は持病の狹心症があり昨年大禮の時京都にても此の病氣を起した、今朝も狹心症から心臟痲痺を起し急死したもので ある、家人は非常に狼狽直に菅野軍醫正を招き同醫師は午前六時頃驅け附けたが其の時は既にことされて如何ともなし得なかつた

政友會幹部の緊急會議
犬養高橋兩長老中から
暫定的總裁推戴か

【東京二十九日發電】田中政友會總裁突然の逝去につき政友會では本日正午より高橋是清氏邸に緊急幹部會を開き善後策協議をしてゐるが取り敢ず暫定的總裁として犬養、高橋兩長老の中より何れかを總裁に推戴する事となるであらうと見られてゐる

露國公使外相訪問

【東京二十九日發電】駐日露國大使トラヤノフスキー氏は二十九日午後三時半外務省に幣原外相を訪ひ、最近のポグラニチナヤ國境附近に於ける白系露人支那便衣隊の侵犯掠奪事件に關して報告し、外相より最近の情報を聽取し五時辭去した

軍縮に關する陸海軍の巨頭會議
三十日海相官邸で開催

【東京二十九日發電】軍縮問題に關する陸海軍巨頭會議は來る三十日午前十時から海相官邸に開催、陸軍は上原元帥、鈴木參謀總長、奈良侍從武官長、白川、井上、金谷、田中、鈴木各軍事參議官、海軍側、東鄉元帥、財部海相、加藤軍令部長、岡田、竹下、安保各海軍々事參議官參集し左近司中將より一昨年のゼネバ會議以來の軍縮問題の經過より最近の英米內交渉に亘り詳細な報告を爲したる後陸

日曜閑話
孔子敎と支那の統制
漢民族の文明を何と觀る

孔子が魯の國、今の山東に現はれ仁を說いた當時の支那の社會狀態といふものは、今日以上に支離滅裂、混沌暗黑のものであつた。孔子は、その亂雜なる社會に、一種の統制を與ふべく仁を說いたのである。がなかく說敎ぐらゐでは、容易に統制さるべくもなく、それ以來といへども、支那の社會は却つて動搖また動搖を續けて今日に至つたのである。されば孔子敎といふものも、これを研究して行くと、春秋戰國の混亂時代の反映として、かくの如きものが發生したのであつて、老人の如き南方思想の人は、早くも一種のアキラメを以て、やゝ混沌時代を嘲笑的に觀察して居つたのである。が孔子は生眞面目であつた。ヒヤカシ半分で、その混亂時代を高踏的に冷眼視することは、彼の堪ふるところではなかつたのである。

×

それもその筈である。五千年の昔、中央アジヤから移動して來た民族が、黃河の上流沿岸に定住し、それがだんく東下して、一種獨特の漢民族文明といふものを構成するに至つたのであるが、その間に二、三千年の永い間、混沌たる社會組織のうちに努力せねばならなかつた。而して、ともかくも漢民族の文明といふものを創造構成したのであつた。何百年、何千年の永い歷史を經過して、ともかくも黃河の上流から、下流に文明の移動はあつたけれども、混沌たる社會は依然として組織なく、統制がなかつた。これに統制を與へ、秩序を示さんとしたのが孔子および彼の一黨であつた。

×

文明といふものは、必ずしも生存に容易な熱帶地方の如きところに起らない。却つて四圍の環境と奮鬪努力せねばならぬところに勃興する。支那にありても、南方の開けたのは早くも唐以後、極端にいへば元、明以來のことである。福建、廣東の如き、相當に古き歷史を有するにせよ、局部的の開け方であつて、長江以南が支那の歷史上に重要な位置を占むることになつたのは、極めて最近のことゝいへる。支那の北方人は、南方人のやうに、悟つたやうな顏をして高踏的に悠々たることは出來ぬのである。何は兎もあれ、生存せねばならぬのである。生存するがためには、四圍の實情よして、衣食住のために奮鬪努力せねばならぬのである。生存の資料は、あらん限りの努力によるにあらざれば。これを把握することが出來ぬといふのが、すくなくとも中央アジヤから出て來た漢民族の境遇であつた。

×

この生存への努力、それは南方人のやうに獨善主義で高踏悠々たるを許さぬのである。個々の力を集合し、その集合力によつて四境と戰つて行かねばならなかつたのである。東夷西戎北狄南蠻といふのは必ずしも漢民族を取り圍んだ外敵を指したばかりでなく、精神的には、かくの如き蠻夷は常に漢民族を脚下から脅威しつゝあつたものともいへる。そこで一家は一家、一落は一落、一城は一城、一都は一都といふ風に社會の統制によつて、漢民族の生存、漢文明の保護といふものが達成せられねばならなかつたものである。論語のいはゆる仁義禮智信なるものは、かくの如き社會統制に對應するために、缺くべからざる機構として唱道せられたのであつて、勿論、宗敎でもなく、倫理道德といはんよりも、一種の社會政策、社會施設といふ程度のものであつたともいへ得る。

×

孔子敎なるものは、かくの如き社會的要求に順應すべく生れたものであつて、社會の統制を强要するが爲めに、相當に拘束を必要とし、また從つて形式に流れることあるも否定することは出來ぬ。その後、年代の隆替あり社會にもまた轉變遷あり、孔子の敎に形式の外觀のみが殘り、內容の精神は、全く認められぬといふやうなことになつたが、支那の社會統制は今日に至るもなほ混沌として達成せられずにある。辛亥革命以來、興漢倒滿は唱道されたが、上述した如き、漢民族文明保護の必要條件として孔子が仁を唱道し、賢帝以來の社會統制を期せんとしたことには留意することなく、囚はれた形式の打破にのみ腐心し、眞の漢民族文明の精神的要求を閑却して孔子敎の破却を敢てするが如きは破壞あるのみを以て、未だ建設の何たるかを知らぬものとはいはねばならぬ。馮といひ、閻といひ、あるひは蔣、張と內亂抗爭に餘念ないが、彼らに支那社會の統制、秩序の保存に、換言すれば五千年以來、培養し來つた漢民族文明の建設更生を理想も、抱負もないのは、支那民族のために氣の毒千萬のことゝいはねばならない。（一記者）

來滿せる太平洋會議出席者

滿鐵情報課の招聘により二十八日安奉線經由奉天着・向つて右より那須博士・カーター氏・菱田氏・グリーン氏（團長）ゴセフチヤンバーレン氏・キルパトリツク氏（奉天驛にて）

英首相米國に出發

【サザンプトン廿八日發電】昨夜ロンドン市民の熱狂的歡呼に送られた英國首相マクドナルド氏は同夜當港碇泊中のベレンガリヤ號の船中に入り靜かに一夜を明かし船は今朝九時二十分當港出發愈々米國に向つた

海軍巨頭と協議し帝國の對策を根本的に研究する豫定である

軍縮會議の招請狀來らず
外務省で對策を協議

【東京二十九日發電】待たれた軍縮會議招請狀もマクドナルド首相渡米前に發せられ遲くも二十八日中には我外務省當局に手交されるものと期待されてゐたが遂に發せられなかつた模樣で、從つて招請狀發送遲延は公式會議其のものを遲延せしむる結果となるので外務省では幣原外相、吉田次官、亞細亞局長、條約局長等外務首腦部は二十八日午後三時より六時まで外務省第一會議室に於て之が對策につき密議する處あつた

總商會が日貨輸入を禁止
長沙で十一月初から

【北平廿八日發電】長沙電に依れば同地總商會は國貨提唱の名の下に十一月一日より日貨輸入を禁止し同日迄に登錄せざる日貨の販賣を嚴禁する旨を決議した、從來の日貨排斥は民衆團體に依つて行はれたが資本家團體を主とする排貨運動は之を以て嚆矢とする

兒玉政務總監

【京城特電二十九日發】博覽會台臨の閑院宮殿下御迎のため本日午前十時發列車にて釜山に赴き一泊の上殿下に扈從して三十日午後七時歸城の豫定

國民政府から二箇師出動
形勢惡化せる廣東へ

【南京二十八日發電】國民政府は廣東の形勢惡化に鑑し第八師朱紹良軍派遣に決し昨日來續々浦口に着本日から乘船を開始した、第三師毛炳文軍と前後して今明日中に廣東に向ふ筈で蔣介石氏は常地護廣東を以て改組派の根據地と見做し徹底的に同地を固める肚らしい

支那公使外相訪問

【東京二十九日發電】駐日支那公使汪榮寶氏は二十九日午後五時幣原外相を外務省に訪問、過般の孫文移靈祭に芳澤前公使が日本代表として參列せるに對し御禮言上のため近く參內するにつき打ち合せをなしたる後、露支紛爭につき情報交換午後五時半辭去した

人事

▲松井兵三郎氏（第十六師團長陸軍中將）師團長會議のため上京中の處二十九日ハルビン丸にて歸任
▲山內靜夫氏（築城本部長陸軍中將）同上來連
▲佐藤佳氏（築城本部員工兵中佐）同上
▲古澤丈作氏（日淸製油專務）同上歸連
▲加藤恭平氏（三菱商事常務取締役）同上來連
▲橋本戊子郞氏（滿鐵東京支社會計課長）同上

天氣豫報

三十日　北西の風晴れ
日出　五、四七　日沒　五、四〇
滿潮　前　八、〇〇　後　八、二五
干潮　前　一、〇〇　後　二、二五

若人の血は躍る 秋晴に響く應援歌
けふ大連運動場で催された中等校陸上競技會

第三回州內男子中等學校聯合陸上競技大會は碧空一片の雲なき秋晴れのけふ大連運動場に於て擧行された、午前九時參加各校の應援團が先づラッパ、太鼓等を先頭とし入場、同二十分參加六校の選手は大連二中を先頭として行進を起し中央本部前に整列した時本年度當番幹事西内大連一中校長開會の辭を述べ終つて旅順一中白石主將は六校選手を代表して宣誓を行ひ愈々戰ひの火蓋は切つて落された大連二中應援團の一部が上衣を脱いでスタンドにくつきりと二中の字を浮出し赤の上衣の廿餘名のリーダーに指揮され應援を始めるや各校共我劣らじと應援歌を高唱する、かくして豫定より十分を遲れ九時五十分百米豫選は開始された參加校は大連一中、大連二中、大連商業、旅順一中、旅順二中、旅順師範學堂で午前之部の成績次の如し（寫眞は入場式）

▲百米豫選A組 一着堀部（大商）一一秒九、二着坂本（大一）、三着酒井（大二）
B組 一着廣瀬（大一）一二秒一、二着冷水（大商）、三着中村（旅一）

▲八百米決勝 一着奥井（大二）二分十一秒六、二着宮前（大一）、三着石田（大商）

▲四百米豫選A組 一着麻生（大一）五八秒、二着宮前（大一）、三着石田（大商）
B組 一着堀部（大商）五八秒四、二着片倉（旅一）、三着王（師）

▲百米決勝 一着坂本（大一）十一秒八、二着堀部（大商）、三着鈴木（大商）

▲砲丸投決勝 一等由布（大商）十一米九四、二等白石（旅一）十一米八五、三等石丸（大一）十一米三六

▲走巾跳決勝 一等寺井（大二）六米五一、二等深川（大一）六米三七、三等近藤（大二）五米八三

▲圓盤投決勝 一等由布（旅一）三四米五一、二等山口（大二）三三米三二、三等白水（大商）三一米二九

旅順グラウンドで開催され長谷理事長開會を宣し次いで井上會長の訓示あり優勝旗返還式後職員學生一同合同體操を行ひ競技に移り秋晴れに觀衆多く大賑はひであつた

お辨當持ちで校庭の賑ひ
朝來の好晴に惠まれた各小學校の運動會

吹く風も快よいけふ、秋の運動會は市內各所で催された小さな應援はこだまして大きく秋空へとゞけとひゞく、けふこそ惠まれた日、勢ひよく少年少女の驅廻るところ松林、大廣場、春日、讃前、聖德の各小學校と土佐町公學堂である みんな、お父さん、お母さん、姉さん達がお辨當をもつて應援と見物に出かけ何處もこゝも大賑はひであつた

餘興が呼び物 工場の運動會

滿鐵沙河口工場では廿九日午前十時より沙河口グラウンドにおいて秋季運動會を開催したが、好天氣にめぐまれ呼物の假裝行列その他の餘興に大賑はひを呈した

工大の運動會

旅順工科大學豫科第十四回陸上運動會は廿九日午前八時廿分から

斬新奇拔な演し物と艶麗絢爛な舞臺美
來る二日から天勝一座を迎へ 讀者慰安の觀劇會

朝鮮博覽會に特別出演する松旭齋天勝一座を迎へ來る十月二日より本社後援の下に市內歌舞伎座に於て一週間讀者慰安觀劇會を催すことになつたが、一行男女優七十餘名は來る二日入港のうらる丸で華々しく乘込み本年最初の試みとして娘子軍三十餘名は今回特に新調した

純日本服 の揃ひの衣裳で直ちにきらびやかな行列を作つて町廻りをなし同夜から開演する、一座の演し物は「子供の國」として少年少女達を喜ばす少女達の可愛いダンスのトーイヨップ、お伽噺劇正直シヨウチヤン及び小奇術があり天勝は久方振で振袖姿の大島田といふ大時代の妖艶な扮裝で純日本式大小奇術を演じジャズの深川踊を配して斬新奇拔な趣向を見せてゐる、また

呼び物の 新舞踊「五節舞」は「榮え行く君ケ代」といふ三部山の御大典記念舞樂で五節舞の舞臺から鳳凰のダンス、菊花祈禱の文化踊りまで前後五景のレヴユウ式演出による華やかな天勝一代の演し物である、その他モリノ杉寬等の出演する寸劇舞踊ジヤズダンス等、音樂に舞踊に實に大小奇魔術と何れも時代の先端に觸れた艷麗絢爛な舞臺美を誇るもの許りである、本社は秋の一夜を

一家揃つて 樂むのに適はしいものとして未だ嘗て滿洲に於て割引興行をした前例のない天勝一座を後援して特に讀者慰安觀劇會を催し社街の如く入場料を割引することになり素晴らしい前景氣を煽り秋の演藝シーズンを飾らんとしてゐる（寫眞は五節舞）

全國教育者大會開催 今日京城で

【京城特電二十九日發】全國教育者大會第一日本日午前九時より京城師範學校に於て開會、宣言案諮問案の審議を行つた、第二日は午前九時より各部會開催、第三日も同樣各部會、第四日は午前十時三十分より京城師範學校に於て總會開會議事を終了して閉會式を行ふ豫定である、出席者は內地、臺灣、樺太、南滿洲、青島等より六百餘名、朝鮮より千三百六十六名 十月一日午後一時より京城グラウンドにて體育デーを催し午後三時からは獎忠壇公園に於て大園遊會を開催する

列車砲の試射を見た 松井師團長談

師團長會議のため上京中であつた第十六師團長松井兵三郎氏は二十九日午前十時入港のハルビン丸で歸任左の如く語つた
今回の會議は臨時的のもので例年は三月に於て開かれる、十八日から二十一日迄四日間現內閣の政策並に宇垣陸相の抱負等の說明に次いで諮問等があつたが、最後の一日は列車砲の試射を千葉縣富津に見に行つた、一發五千圓位懸るものらしく二發發射したものだ、歸途京都にて留守軍の狀態を見、直ちに歸つたような次第で特別に注目に値する程の會議事項はなかつた

米國觀光團の元締め一行
ヒ氏等十名けふ來連

日本は風光を誇り乍らも、外人を招くすべを知らず、スヰツツルが一年に二百萬人、フランスが百八十萬人、ドイツが百三十萬人、イタリーが百二十萬人と云つた漫遊客を呼んでゐるのに對して日本は僅か三萬人と云ふ外國のお客さんしか來てゐない、そこでまづ弗の國アメリカ、毎年世界漫遊客の約九割を國外に出すアメリカ、この漫遊客を誘致しやうと云ふので鐵道省、ホテル業者、船會社、觀光案內業者等が協議の結果つくつた對米廣告共同委員會ではアメリカ觀光客の元締めゼー、ピー、ヒユツパート氏一行十名を招聘し八月三十一日より約一ヶ月間日本各地を案內してゐたが一行十名は日本及び朝鮮の旅を終へて今朝八時大連驛に到着した
驛頭には滿鐵の伊澤涉外課長、貝塚旅客係主任等が出迎へ、直ちにヤマトホテルに入つた、尙今日は旅順へ、明日は大連市中見物、次いで明後日朝の急行にて長春へ向ふと
一行の顏觸れは左の如し
團長ゼー・ピー・ヒユツパート氏夫妻及令孃（アメリカン・エキスプレス代表）エー・アール・モーズ氏夫妻（トーマス、クック社代表）トーマス・マロア氏夫妻（レーモンド・ホイツトカム社代表）シヤドソン氏夫妻（アートクラスト・チリド副社長）ピー・グラハム氏（南太平洋鐵道代表）ケー・オスワルド氏（エー・テイー・エンド・エス・エフ・鐵道代表）等である

行く人來た人

（上圖）朝博觀光團の出發と（下圖）米國ヒ氏一行の來連

聯隊の營門で不穩ビラ撒布
大杉の七周年に不穩計畫 大阪で憲兵隊活動

【大阪二十九日發電】二十七日午前八時頃大阪步兵三十七聯隊營門で百數十枚の不穩ビラを投げ込んだ二人連れの男を大阪憲兵隊で逮捕した、同人等はアナ系の主義者佐藤幸三（二三）細田伊太郎（二〇）（何れも假名）でビラには軍國主義を呪ふ過激の文字が列擧されてゐるので憲兵隊では府特高課と協同し同人等の家宅搜索と共に嚴重取調中であるが、二十八日午後憲兵隊の一行は更に背後に於て糸を操つてゐると目せらるゝ江藤寬（二八）（假名）を逮捕した、江藤は無政府主義者の大立物故大杉榮の遺兒を要とする男で大杉の七周年を機會に此の種の計畫を進めてゐるものではないかと見られてゐる

夫婦心中の取調べ
自殺幇助罪で

第九驅逐隊の贈收賄事件に連坐し豫審官の取調べを受けた結果、到底罪の免れざるを知りこの世を悲觀し妻のぶ子と共に心中を圖つたが、自分のみ生き殘つた二葉町四二店員狩野勝助（三九）は慈惠病院の手當でその後の經過良く殆ど快癒したので二十七日夜自殺幇助罪として病院より引致、大連署に留置されたが一應取調べの上、右贈收賄の事件があるので大連憲兵分隊に引渡され更に當地方法院檢察局の取調べを受け公判に附せられる模樣である

臨時競馬最終日
午前中の成績

臨時競馬第六日目である廿九日は午前十時半より開催されたが好天氣に本年最終競馬であるため觀衆續々と押かけ第四レースにおいて當日最初の番狂せをなしファンを熱狂せしめた午前中勝馬左の如し

▲第一競馬秋抽千八百米 第一着那須野（二分四十秒一）第二着一輝（半馬身）第三着豐年（配當四圓六十錢）
▲第二競馬各抽二千米 第一着若桜（二分四十一秒四）第二着金峰（半馬身）第三着伊吹（配當六圓五十錢）
▲第三競馬古呼千六百米 第一着大黑（一分五秒一）第二着月星（大差）第三着大斗（配當三圓五十錢）
▲第四競馬秋抽千八百米 第一着鳳武嵐（二分三十七秒二）第二着小鷹（二馬身）第三着那智（配當廿六圓）

山葉洋行、大連、西崗子兩公議會支那菜館で前賣りしてゐる【寫眞は左から恩曉峰、恩維銘、品艷琴】

三等室に納つて松浦博士の來連
大連を振出しに沿線各地で生活改善の講演會

滿鐵社會課、鐵道部、社員會共同主催の下に生活改善講演會を開催すべく、これが講師として招聘された同方面の權威元京大教授醫學博士松浦有志太郎氏、社會通俗教育界の大家兼國團講師村井寅雄氏は二十九日午前十時着のハルビン丸にて來連當地禁酒會員其の他の出迎へを受け月見ヶ岡の柳原博士の宅に落着いた、人も知る如く松浦博士は生活改善の實踐躬行家として有名でハルビン丸に於ても三等室に收まり莞爾として記者を迎へ、ポツリポツリと語り出す所は全くの好々爺である
船中の三等は汽車とは又別の趣きがあり極めて民衆的で色々と教へられる所が多い、自分は京都禁酒會の會長ではあるが、何も固苦しく禁酒、禁煙を說かうとは思はない、生活改善は先づ食物、衛生方面から固いことはやめて談笑の間に、唄つたり踊つたりしながら、その目的を達したい考へでゐる、時間の餘裕ある限り夜間にも講演したい心組である、尙一緒に招聘を受けた鐵道青年會理事益富政助氏は急用が出來て京都から東京に引返したが陸路朝鮮經由にて奉天にておち合ひ沿線にての講演を共にする筈である

無錢徒步旅行 兩氏けふ來連

無錢徒步旅行者の森本信義、新田織太郎の兩氏は沿線より本日來連し本社を訪れたが、近く天津に赴き南支旅行の途に上る豫定であると

旅順線で轢死

二十九日午前零時ごろ旅順線夏家子驛より旅順に向つて約二十町の地點に支那人が轢死されてゐる旨屆出に接し大連署から星司法主任並に奥山囑託醫は同九時三十分發列車で檢證のため現場に急行した

滿日軍優勝

大連印刷業聯盟スポンヂ野球リーグ優勝戰滿洲日報對東亞印刷は二十九日午前八時より第二中學校グラウンドに於て擧行したが十六對五にて滿日優勝した

藝者の逃亡

大連逢坂町一五〇貸座敷末廣樓抱藝妓福龍こと中原スエノ（二九）は二十四日午前六時ごろ無斷家出したまゝ未だに歸來しないので二十八日午後九時ごろ樓主から搜查願を出した

山手町小火

二十九日午前一時五十分ごろ大連市山手町四仕立業飯嶋岐（六二）かたより出火、枯草約十斤、時價十二、三圓を燒き同二時二十分鎭火した、原因目下取調中

緣談と婚禮

(1)どうすれば良緣が得られるか
(2)娘なり息子なりに就て親の心得
(3)婚禮はどうしたら一番よいか
婦人俱樂部十月號に右研究の座談會開催、娘も親もぜひ御覽あれ。

恩維銘一座 けふ來連
一日から開演

中日文化協會の招聘で來る一日から協和會館に出演する支那戲の名女優恩曉峰、恩維銘、品艷琴の一座は二十九日入港の長沙丸で來連した、尙會券は三圓と二圓の二種で中日文化協會を初め市內各書店

電氣マーケット景品抽籤券當籤番號

電氣マーケット景品抽籤を九月二十八日當社電燈課に於て警察官の立會を乞ひ執行仕候處當籤番號は左記の通りに付景品は當該抽籤券と引換へに御渡し可申候

景品引換場所……………電燈課營業係

昭和四年九月二十八日

南滿洲電氣株式會社

一等	388	2707	2991	855	4439	1923	4419	217	545	898	1234	1561	1916	2292	2630	2999	3313	3598	3955	4354	4695	5011	5463	5785
5217	1437	2746	3108	869	4513	2108	4465	220	555	931	1273	1578	1922	2296	2634	3005	3316	3604	3958	4355	4697	5063	5489	5789
	1700	2770	3181	906	4650	2131	4552	229	565	936	1276	1599	1939	2299	2655	3008	3319	3608	3963	4356	4700	5075	5491	5799
二等	1962	2811	3271	983	4669	2239	4786	234	577	941	1282	1604	1941	2305	2670	3014	3322	3616	3977	4359	4717	5085	5494	5814
2420	2295	2950	3522	1123	4850	2248	4836	250	584	952	1286	1613	1947	2329	2677	3016	3333	3619	3980	4362	4737	5093	5497	
2530	2312	3572	3533	1270	4990	2429	5148	262	593	960	1290	1631	1953	2332	2680	3019	3335	3636	3986	4374	4760	5113	5501	
4136	2390	3628	3618	1278	5216	2439	5282	277	595	976	1294	1648	1964	2335	2687	3022	3360	3648	4001	4386	4762	5118	5506	
5227	2632	3731	4395	1385	5237	2479	5323	279	604	982	1306	1656	1968	2338	2695	3046	3364	3654	4034	4399	4780	5121	5519	
	2769	4045	4518	1426	5637	2557	5417	280	618	985	1313	1658	1972	2348	2700	3048	3380	3694	4038	4405	4783	5124	5530	
三等	2826	4074	4681	1546	5690	2616	5428	305	619	987	1314	1659	1979	2357	2701	3053	3396	3700	4054	4408	4793	5129	5537	
574	2981	4301	4755	1880	5778	2640	5446	306	657	1001	1315	1676	1986	2374	2708	3060	3408	3704	4064	4450	4800	5133	5541	
840	2998	4322	4779	1943		2652	5712	316	663	1048	1326	1682	1991	2389	2710	3068	3410	3750	4065	4478	4803	5147	5548	
1456	3647	4944	4796	1990	九等	2743	5717	327	665	1052	1333	1691	2028	2398	2738	3086	3417	3759	4088	4486	4807	5151	5559	
2375	4071	5040	4889	2039	57	2946	5754	329	681	1059	1335	1696	2032	2399	2758	3091	3422	3762	4095	4491	4811	5172	5594	
3009	4319	5268	4964	2103	58	3110		341	692	1070	1341	1703	2043	2404	2759	3097	3434	3769	4114	4508	4817	5183	5600	
3566	4330	5586	5096	2254	72	3170	十等	361	699	1074	1368	1732	2066	2410	2771	3098	3439	3772	4116	4509	4818	5190	5601	
5535	4487		5103	2277	212	3300	7	367	708	1076	1372	1742	2077	2423	2774	3115	3446	3785	4130	4511	4822	5197	5602	
	4903	七等	5109	2573	356	3341	13	371	724	1081	1376	1753	2078	2446	2824	3116	3449	3787	4135	4515	4825	5204	5610	
四等	5154	108	5200	2653	428	3374	17	375	733	1097	1395	1759	2088	2450	2829	3133	3450	3788	4137	4517	4833	5221	5620	
331	5572	379	5270	2689	500	3448	22	380	737	1104	1409	1769	2089	2471	2831	3144	3453	3794	4145	4524	4838	5230	5625	
826		589	5308	2693	673	3462	50	411	749	1112	1431	1787	2092	2475	2851	3148	3471	3820	4165	4538	4844	5236	5629	
1096	六等	943	5331	2792	720	3575	51	412	753	1114	1445	1793	2093	2498	2859	3152	3472	3830	4167	4546	4859	5244	5653	
1301	171	965	5388	2940	725	3653	73	413	757	1125	1453	1800	2095	2499	2878	3155	3475	3838	4171	4549	4868	5254	5658	
1495	296	1100	5389	3087	758	3674	83	414	775	1130	1462	1816	2096	2504	2892	3161	3479	3846	4196	4575	4869	5258	5662	
2340	642	1251	5794	3135	761	3773	98	433	782	1131	1464	1818	2097	2523	2899	3163	3488	3850	4219	4579	4871	5275	5683	
2403	694	1640		3180	829	3864	114	443	798	1135	1466	1821	2155	2524	2901	3166	3489	3852	4230	4599	4880	5290	5684	
2556	808	1774	八等	3576	1007	3898	118	446	825	1137	1481	1826	2161	2534	2906	3172	3503	3853	4244	4606	4894	5299	5694	
4296	837	1820	45	3589	1016	3969	125	451	834	1155	1490	1833	2188	2537	2922	3176	3508	3866	4249	4609	4900	5324	5695	
4791	1194	1891	92	3633	1045	4098	128	481	836	1162	1508	1846	2191	2539	2923	3193	3532	3902	4251	4624	4910	5326	5710	
5013	1214	1992	167	3709	1065	4140	129	494	839	1166	1528	1854	2217	2564	2929	3205	3538	3905	4260	4629	4939	5371	5713	
5257	1281	1994	348	3839	1149	4194	139	517	843	1168	1532	1860	2235	2567	2931	3209	3558	3907	4261	4642	4950	5383	5733	
5665	1417	2000	363	3967	1174	4209	141	527	847	1178	1533	1865	2242	2582	2937	3210	3559	3909	4289	4649	4977	5411	5736	
5748	1853	2434	401	4006	1182	4210	177	536	857	1184	1535	1869	2258	2592	2945	3215	3563	3926	4294	4662	4991	5413	5738	
	1924	2681	405	4025	1197	4246	179	538	865	1186	1541	1897	2269	2596	2951	3224	3565	3944	4313	4668	4999	5421	5759	
五等	2464	2697	793	4073	1784	4347	197	539	868	1196	1542	1898	2286	2599	2952	3231	3571	3946	4324	4678	5007	5432	5762	
372	2470	2807	797	4418	1855	4369	207	541	880	1208	1555	1914	2291	2619	2968	3298	3592	3950	4348	4693	5010	5458	5776	

コドモページ

十月二日に行はせられる

正遷宮に就いて (三)

◇御造營の次第◇

次に今度の御造營の次第についてお話いたしませう。

先づ社殿をこしらへるにはたくさんの材木がいりますが、その材木はどこの山からでも伐り出すのではなく古から御料林は木曾山に定められてゐます。

今度の御造營の御杣山(材木を伐り出す山)は大正九年四月二十六日に長野縣西筑摩郡駒ケ根村大字小川御料林及岐阜縣惠那郡加子母村字出ノ小路御料林に定められました。そしてそれらの山から木を伐り出すに先だつて同じ年の五月に山口祭、木本祭が行はれました このお祭は御杣山の山口及び木本にしづまります神さまをお祭りして無事に木を伐り出すことの出來るやうにお祈りするお祭で、神宮御造りがへの一番初めのお祭りです。さていよく御料材が伐り出されますと一先づ山の中にある奉安所にしまつて置き、時期を待つてこれを木曾川に流します。丸太のまゝの用材は急な流れに乘つて次第に下流へ下流へと流れ數日の後に名古屋市熱田町にある白鳥貯木場に一旦つながれます。

それから御用材は船に積まれ海路を經て三重縣の大湊町にある用材置き場に運ばれるのですが、今度御料材は大正十一年から昭和二年まで七ケ年に亘つて大湊町の貯木場から宇治、山田の兩工場に運ばれ大正十一年には御木曳初式と言つて御料材の中から正殿の垂木にあてられる大きな材木を現場に運びましたが、それは古からのならはしによつて宇治山田市及び其の附近の村の人々が揃ひのきものを着て節おもしろく木やり音頭をうたひながら勇ましく用材を曳きました。

このやうにして御用材をすつかりはこびこんでしまふといろくの儀式にうつるのですが大正十一年の四月には木造始祭と言つて木造のしごとを始め、ついで十三年五月には嚴かな鎭地祭が行はれ、昭和三年三月には立柱祭、上棟祭、五月から七月にかけては御屋根をふきまつるためののきづけ祭、その他甍祭、御戸祭などのいろくの祭りが次々と行はれ本年の九月に入つてからは御船代を賜奉るための御船代祭、しんのみはしらを建奉るための心御柱奉建の儀正殿のできあがりをお祝ひする杵築祭及び後鎭祭などが行はれていよく御造營の工事が全く出來上つたのです。(つゞく)

秋風

大廣場小學校一年　堀義彦

このごろ秋風
ふいてきた
そよそよ秋風
ふいてきた
あさばん涼しい
きがします
朝おにはを
はくときに
お手てがつめたい
きがします
藤のはつぱも
きいろくなつて
かぜにひらひら
とんできて
おにわいつぱい
おちばです

ムラサキホコリカビ

滿洲最初の發見

名譽ある溪正夫君

今月二十一日の本紙地方版に滿洲醫科大學の福田教授が滿洲ではじめて「ムラサキホコリカビ」を發見したといふ記事がありましたが、二三日前南滿教育專門學校の大賀理學博士が大連一中の理科室を訪問した結果福田教授よりも一足先に「ムラサキホコリカビ」を發見してゐるものゝあることがわかりました。

名譽の發見者は大連第一中學校四年生の溪正夫君で、同君は今年の夏休みを利用し趣味を同じうする學友數名と共に同校博物擔任の小林先生に引率され安奉線に植物採集に出かけたのでしたが、その時本溪湖、鞍山及連山關で計らずも朽果た古木の切株に「ムラサキホコリカビ」を發見し、此の意外の獲物に採集旅行の有意義であつたことを語り合ひながら喜び勇んで大連に歸つたのでした。その後溪君は小林先生の指導の下に胞子の培養や胞子の活動狀態觀察につとめたが培養も立派に成功し、胞子の活動する樣子も顯微鏡下に完全に見ることが出來たさうです。この「ムラサキホコリカビ」といふのは一種の變形菌で畏くも今上陛下が熱心に御研究中のものであります。このムラサキホコリカビは非常に種類が多いのですが、滿洲ではこれまで見つけた人はありませんでした。しかし偶々溪君によつて發見されたことは滿洲植物界の一大貢献であると同時に溪君に取つては最大なる名譽です。(寫眞は溪正夫君です)

兒童の作品

エンソク

沙河口校小學校一年　小竹ミグミ

キノフ エンソクニ イキマシタ。キノフハ ヤマノテッペンニ マダ ノボラナイトキ ハンブン ノボッテ ジンシヤノホオオミテ ミルト イチバンサキ ガッコウガ ミエマシタ。テッペンニ ノボッテ クリヲタベテ バッカリ キマシタ。ソレカラ センセイガ アソンデキナサイ トイヒマシタ。ソレカラタカモトクンガ キタノデ「オイキミクリヲ ヤロウカ」トイヒマシタラ「シン、クレ」トイヒマシタノデ「ナンボイルカ」トイヒマシタ「フタツクレ」トイヒマシタ。ソレデヤリマシタ。ソレカラ フヂイセンセイガ、ゴハンノヨウイトイヒマシタノデ、スグタベマシタ。アンマリオカヅガオイシクナイカラ ノコシマシタ。スルトムコウニ ブーントイヒマシタノデ ミテミルト ヒカウキガ、ムカウニトンデヰマシタ。ソレカラ ススキヲトッテカヘリマシタ。

大チャンノタンケン (109)

ニドメノ

ハルミチ作　ジラウ畫

「オヂサン コノ センスヰテイガ ウゴキマスカ」大チャンハ オヂサンニ キキマシタ。「アー、ウゴクトモ デンチニ デンキヲ イレサヘスレバ リッパニ ウゴクヤウニナルヨ」

「シカシ コンナ シマデハ デンキガ ナイカラ コマルデセウ」「ソレニハ ヨイ クフウガアル、デハ コレカラ ワタシタチノ コヤニ カヘラウ」

ソコデ オヂサンハ ウハギヲ ヌイデ センスヰテイノ カンパンニ ホヲ コシラヘマシタ ヤガテ ウハギノ ホハ カゼヲ ハランデ フネハ シヅカニ ハシリダシマシタ。」

四人の女を口で持ち上げる男

これはドイツで評判の恐ろしい力持ちです。

ごらんなさい、口に六尺ばかりの鐵の棒をくわへ、四人の女をぶらさがらせて平氣でそれを持ちあげます。何と恐ろしい力ではありませんか。

童話

正ちやんと白蝶 (上)

近藤義長

秋の夕暮です。赤い夕陽はもう遥か彼方の山の端に沈んで、夕風に高粱がザワくと音を立てゝゐます。邊りは薄い灰色に包まれて來ました。正ちやんは今日もまた廣い庭に出て、黐のついた竿を振り乍らトンボを取るのに夢中でした。

「あゝこんなにとつたく」

さう云つて正ちやんは竿を放り出すと澤山とつたトンボを數へるのでした。赤い可愛いトンボは皆んな羽を押へられてバタくと苦がつて身悶ひをしてゐます。

「又こうしてやれ」

そう云つた正ちやんはその中の一匹の羽を半分からちぎつて放してやりました。けれ共放たれたトンボは羽を切られて如何して飛ぶ事が出來ませうか、少し行つてはひつくりかへり、少し飛んでは落ちて仕舞ふのでした。

「面白いく」

正ちやんはそれを見て飛上つて喜ぶのでした。そして又一匹の羽をちぎらうとしたのですが丁度その時……

「正ちやんく」

と呼ぶ聲がしたのでひよつと振り向くと其處には一匹の白蝶が正ちやんの手にしたトンボをぢつと見乍ら立つてゐました。

「何んだい、君が呼んだのか?」

「そうです、正ちやん可哀相だからお止しなさい」と白蝶は云ふのです。

「何が可哀相なものか、馬鹿」

正ちやんはそんな事を云つて又羽をむしりにかゝらうとするのです

「ね正ちやん、御願ひですから放してやつて下さいな、そのかはり正ちやんをいゝ處へ連れて行つてあげませう、ね、そんなに生物をいじめるものではありませんよ」

と白蝶は頼む樣に云ふのでした

「何處へだい」

「いゝ處へ連れて行つてあげませう」と云はれた正ちやんは何處かしらと思つて好奇心を起しました。

「あたしの家です。それはいゝ處ですよ、さ行きませう、そんなものは放してしまひませうよ」

「うん、ぢや放してやらう」

正ちやんは手につまんでゐた五六匹のトンボを放してやると白蝶について歩き出しました。トンボは嬉しさうに飛んで行きます。

×　×　×

白蝶の家は庭の隅にありました色々のきれいな草花に圍まれた立派な玄關があります。「僕なんか行つたつて蝶の家なんかへは這入れやしないのだ」そう思つてゐた正ちやんはこれを見て本當にびつくりして仕舞ひました。

「きれいだなア、大きいなア」

思はず正ちやんは大聲に叫ぶのでした。

「おかへりなさい……」

玄關に立つてゐた二匹の蝶はさう云つて頭を下げると戸を開きました。

「さゝ、御先きに」

と白蝶は正ちやんを先きに入れて又戸を閉めると正ちやんと並んで歩きました。長いく廊下です。赤や青さまざまの豆電燈がまばゆいばかりに輝いてゐて目もくらむ程です。正ちやんはまるで夢の樣でした。

「どうですか」

白蝶は正ちやんの顔をのぞき込む樣にして云ふのです。

「素敵だなア」

正ちやんはおろく邊りを見廻はしました。

平安異香(125)

栗多默太郎作　一彌畫

(中) 鳩を賣る男(六)

何分足下から鳥の立つやうな騒ぎだつたので、どうする暇もなく黒住源八郎は荒田のさる百姓家の離れのやうになつた一棟を借りて住んでゐた。

それへ駈つけて、檢非違使廳を飛出した下役人は

「お組頭、すぐお出でを願ひます素晴らしい大物なんで……」

といつたのだつた。

その時源八郎は夕風の涼しい縁に出て、愛犬の春駒といふのを相手に戯れてゐたが、

「さうか」

と云つたばかりで犬の頭から手を放さなかつたが、

「なんだ、なんだ」

と奥から飛出して來たのが郎黨のいかつけつの勘兵衛といふ剽軽者だつた。手に火吹竹を持つてゐる。――飯炊をやつてゐたのであらう。

「おう、こりや三宅さん、どうしたんだね、そんなに息を切らせて……」

「うん、なんだ。大悲山の夢之助がこの福原へ出やがつたんだ、お組頭へ使廳に人數は揃つてゐる。すぐお出かけなさつて下さい」

源八郎が犬の頭を撫でながらいつた。

「別當の邸だらう」

「へエ?よく御存じで……」

「何か變な鳥を擔いで鳥賣りになつて」

「あ、さう聞きましたが――?」

「誰がそれを夢之助と看破したのだ」

「一向、その邊のことは伺つてゐませんが、お廳の方樣からのお訴へのやうで……」

「あ、さうか。先頭大悲山へ擔いで行かれたといふから……」

「兎に角すぐにお出かけなさつて下さい。あの男を捕へるにこんなよい機はないのだし、それに勸修寺邸で變な間違ひがあつては役目の手前申しわけがないと云つて、判官も急いでおゐでになりますし

「役目の手前か――」

苦笑して、

「行くと云つてくれ、長くは待たさぬ」

「では一刻もお早く――御免」

と下役人は駈て行く。と、

「お大將、さあこの腹樣をあてゝくんな。大物の浦以來の夢之助だこん度こそはふん縛つてやりませう」

いかつけつの勘兵衛が落着かぬ腰を浮せて急きたてるのだつたが

「飯はできたか。出來たら持つて來てくれ」

源八郎は容易に動かない――いや、動けないのだつた。

源八郎は自身直屬の配下の五六人を百姓や商人に變裝させて不斷に福原を歩かせてゐたので、師輔が鳥賣りを邸へ連れて行つた事を既に宵のうちから知つてゐた。

配下の話を聞いて、どうもをかしい男だと思つてゐた矢先だッたので、下役人が飛んで來た時、何かあつたなと思ひ、夢之助が現はれたと聞いて、さては――と思つたのだつた。が、假にも秦の司馬陵だの月夜鳥だのといはれてゐる源八郎だけに、おいそれとは立て摘ないではゐられない源八郎だ。出た以上はどうしても大物の浦の失敗もあることだ――勘兵衛に夕餉の仕度をいひつけておいて、源八郎はごろりと横になつた。

手枕になつて、蚊遣りの煙を無心の眼で追つてゐるのだつた。

それへ勘兵衛が膳を運んで來て源八郎の給仕をしながら自分も食ふ。

食ひながら源八郎を見ると、源八郎は重苦しい顔をして、啞者のやうに默つて食つてゐる――なるほど、お大將にはお大將だけの氣苦勞があるんだ。深い思案があるんだ――と思つたので、勘兵衛も急きたてるやうな事は云はなかつた。同じやうに默つて口を動かしてゐる。と、遽に源八郎の顔がからつと晴れたと思ふとにんまりして、

「勘兵衛、うんと食つておけよ。腹がひだるうては、手働を受けた時に我慢が出來ない。それに今夜は、ひよつとすると十里二十里をぶつ飛ばなきやならないかも知れないぞ」

映畫と演藝

恩維銘の支那劇　その觀方

(上)　石原巖徹

今回協和會館に出演する恩母子及び品艶琴の劇目に就き、その觀方を記していさゝか大方の參考に供したいと思ふ。

武家坡

此劇は老生（男）青衣（女）の二人の芝居で、老生が主役である場合は最初の出の歌有名な「一馬離了」の一節と、中程の口説き始めの歌「八月十五…」の一節が聽きものである。青衣が主である場合には口説きの場面の歌が好い。總體的に云へば口説きの場面の男女のカケ合ひの歌及びセリフがクライマックスである。又女が男のカラカヒをはぬつける場面の所作表情は興味深き觀物である。歌は西皮調。

烏龍院

水滸傳の一節で宋江（老生）が閻（花旦）の居處へ遊びに來て、すつたもんだの末もう來ないと云つて出て行つた後で、妖夫張文遠と女とが宋江謀害の計を定める處まで、普通終つて居る。これに「代殺惜」と云つて、宋が手紙を取りに又歸つて來る處から、殺しまでを續けて演る場合もある。此劇は歌は大して面白くないが、梁山泊の英雄の女に對する不甲斐なさ振りと、淫婦のフテクサレ振りが極めて面白く描寫されて居るので社會劇的興味に富んで居る。歌は二黄。

李陵碑

俗に碰碑と云ふ、悲壯史劇で楊業（老生）の子七郎の幽靈が夢に現はれて恨を告げる所から始まり業が七郎の兄六郎を遣はして七郎の行方を探させ、其後で一人自殺する所で終る。此劇は最後に業が楊家一門の苦忠の事蹟を反二黄と云ふ悲調で唱ふ所が聽きものである。老生の唱專門の劇として最もむつかしく又面白いもので、今これの出來る役者は多く無い。恩驟峰の當り劇である。歌は二黄。

梅龍鎭

明の武宗正德帝が下情視察の微行をやり、美人を得て歸ると云ふ筋。劇名は又遊龍戲鳳とも云ひ唄は烏龍院と同じく平板二黄で大して面白くないが、二人の無邪氣なイサカヒ振りが觀る人の心をなごやかにする。品艶琴の娘はさぞ可憐な處を見せるであらう。倆素性を明すところで帝が下衣を見せるのは天子の証據即ち龍の模樣のあることを知らせる爲めである。

滿洲日報

南滿洲産の林檎が 北滿で幅を利かす
内地物を全く驅逐するに至り 漸く朝鮮物と競爭

ハルビン商工會議所の調査に依ると近年の同地方に於ける林檎の需要高は年約十萬箱(一箱約二十貫入)に及びなほ増加の傾向にあるが[illegible]影を沒したる狀態にあるといふ、一方近時熊岳城を初め關東州内南滿産林檎及び支那山海方面の移入増加し漸く朝鮮物と競爭の形となつたが、兩者の運賃取引の比較からみれば南滿産は運賃一箱につき約四十錢日數で二日乃至五日の開きがあり、南滿物は頗る有利なる地位にあるので將來これ等運賃諸掛の割安と又支那税率の實施生産安の點より南滿物の

北滿移入 は頗る増加すべくやがて朝鮮物を驅倒する時機の來るべく豫想されてゐる、尚同地に於ける移入種類は八、九月中旬迄は紅玉十月後は倭錦、國光及山海關物であると

神宮競技行幸 正式に仰出さる

【東京廿八日發電】天皇陛下は本日神宮競技大會に行幸[illegible]

新裝成つた 滿鐵技術研究所
廿八日盛大に落成式

新裝成つた滿鐵技術研究所の落成式は二十八日午後一時より[illegible]▲[illegible]時子に就て(岩竹松之助)▲軌道回路の研究(高木小二郎)▲鑛の一考察(尾見半左右)▲都市計畫に就て(日下和吉)▲滿鐵沿線の概說(宮島忠雄)▲列車障害に就て(藤井正一)▲脱炭抵抗の研究(是安正利)▲燃燒試驗結果に就て(遠藤一[illegible])▲金屬の疲勞現象に就て(井[illegible]仁)▲汽罐給水處理法に就て(渡邊猪之助)かくて同五時閉會した、因に當日

華やかな餘興のダンス
廿八日大連彌生高女祝賀式で

軍規を[illegible] 社説に處罰

【パリー廿八日發電】當地共產黨新聞ユーマニテ社説記者ボウルジアニー氏と支配人アリスチード、デニー氏は軍規を亂さんとする煽動社説を發表した廉でジアニー氏は三年の禁錮、デニー氏は二百フランの罰金に處せられた

千五百米水泳に 新記錄出づ

【東京二十八日發電】第五回神宮體育大會水上競技第二部は二十八日玉川プールで舉行千五百米決勝で高知商業横山孝君は二十分五十七秒で新記錄を作つた

午後の成績
中等校競技會

[illegible]は大平副審裁出席の筈だつたが豫算會議のため藤根理事が代理で列席した

廿九日大連運動場に於て舉行された[illegible]與村聯合陸上競技[illegible]の成績左の如くである[illegible]が、大連二中が最も成績良好であつた

▲四百米決勝 一着麻生(大二)タイム五十五秒四、二着宮前(大一)、三着堀部(大商)
▲三段跳 一等最上(旅一)十三米三六、二等寺井(大二)十二米八五、三等近藤(大二)十二米六八
工藤(大商)十二米六八
▲千五百米決勝 一等奥井(大二)タイム四分三十九秒二、二等深町(大二)、三等石川(大一)
▲走高跳 一等湊川(大一)一米七〇A、二等大崎(大二)、二等最上(旅一)
▲八百米リレー 一着大連商業タイム一分三十八秒四(井上、堀部、長尾、鈴木)二着大連一中三着大連二中

重修成つて盛大に 孔子廟の臨時釋典
日曜日と秋晴れに人出多く 昨日金州城内賑ふ

【金州特電二十九日發】豫て重修工事中であつた金州城内孔子廟の竣成が出來上つたので、昨二十九日臨時釋典を執行することゝなつた、この日秋空高く晴れ渡り、正午よりいよく式は開かれた、日曜日にかてゝ加へて秋の金州と云ふのですばらしい人出で集まる者日支人有志六百名で太田關東長官も朝來より來金し、午前中は南山金州民政支署を訪問し正午から式に參列した、人出はいよく增し城壁の上に迄溢れると云ふ有樣であつて、太鼓は三百六十回殷々と響き渡る、關東州唯一の文廟の式典はかくて午後二時いとも嚴肅に終つた、そして式がはてると長官はじめ官民重だちたる人々の支那料理宴會が別席に於て開かれ、この佳き日を長閑に過ごした

明大快勝す
七—零法大に

慶應(宮武、岡田)立教(辻、小笠原)で立教惜敗すバッテリー

【東京二十八日發電】明大對法政戰は二十八日午後二時半より中野球場にて明大先攻にて開始左の如く七對零で明大大勝した

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
明大	1	0	0	2	0	0	2	1	1	7
法政	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大連實業團

既報の如く大連實業團野球部選手一行は二十九日全撫順と對戰するため廿八日二十一時三十分發列車にて宮崎監督に引率されて撫順に出發したが、安藤主將は忌中のため遠征に參加しなかつた、一行選手名次の如し
渡邊下下榮武川島本田本田尾岩渡木梶高宮中中山平橋山松投捕一二三遊外同同同補缺

關東大學專門學校の 陸上競技大會
廿八日神宮競技場で舉行さる

【東京廿八日發電】第十一回關東大學專門學校陸上競技選手權大會は二十八日午後一時から神宮競技場で舉行された、囑望された織田早大主將は足部負傷のため出場しなかつた、決勝成績左の如し

△走巾跳
一等 富山(帝大)七米七(大會新記錄)
二等 中島(早大)
三等 海老名(帝大)
四等 宇野(高師)
五等 福永(早大)
六等 黑田(慶大)

△砲丸投(二部)決勝
一等 三橋(中央)一〇米九九

△走高跳(二部)決勝
一等 根橋(商大)一米七〇A

△砲丸投決勝(一部)
一等 齋藤(慶大)一二米四(大會新記錄)
二等 青野(早大)
三等 山本(慶大)
四等 齋藤(高師)
五等 清水(明大)
六等 林(高師)

△三段跳(二部)決勝
一等 根橋(商大)一三米四六

帝都六大學野球戰
四對一で 慶應捷つ
對立教第一回戰

【東京廿八日發電】慶立野球第一回戰は廿七日神宮球場に慶應先攻で開始立教の善戰も空しく四對一

工專軍後半に 振ひ快勝す
十一對六で大倶敗退
ラ式蹴球リーグ戰

ラグビーリーグ戰南滿工專對大連ラグビー倶樂部戰は二十九日午後二時十五分工專グラウンドで開始されたが十一對六、工專の勝となる閉戰同四時二十五分、レフエリー土井、線審、牛尾、日原、大倶風上に陣し工專のキックオフ

工 專 1{3—3}6 大 倶
1{8—3}

前半 開始後二分、大倶フリーキックを得有田のキックで敵二十五碼線に入りドリブル、TBパスに盛んに攻め五分右側ゴール前のルーズから出た球は北原—新城—有田—石川—藤田と左に渡り左隅五碼邊にトライ、ゴール成らず(三點)其後大倶桂の奮戰も空しく大倶FBの失に工專、大倶のゴール前に迫つた時石川の好キックに一度は返したが工專依然優勢を持し二十分大倶ヂリく と攻めて漸く工專陣に入つたのも束の間工專藤島の好タッチとFWドリブルで再び大倶ゴール前に混戰する中五碼スクラムの球を工專の高瀬取り其の儘倒れ込んで右隅十碼にトライ、ゴール惜しくも成らず(三點)大倶石川、桂、北原の突進もフオローするものなく工專又もやゴール前に迫つたが大倶FWのドリブルで中央に返つた時ハーフタイム

後半 開始後三分大倶陣左側二十五碼線のルーズから出た球を工專の岩田取り右に廻つて奧にパス右隅五碼にトライ、プレースキック入らず(三點)五分工專左側十碼のルーズの球は桂、有田、石川、藤田と右に渡つたが惜しくもドロップアウトとなり其後一進一退する中、十八分大倶陣卅碼にての大倶TBのパスを工專藤島見事にインターセプト(横取)して快足を利してポスト直下にトライゴール成る(五點)三十二分大倶新城自陣より單身ドリブルに出で工專TB線を拔いたが惜しくもゴール前につぶされ工專直ちにFWドリブルに盛返し敵ゴール前に迫つたがドロップアウトとなり尚ほも大倶陣に戰ふ中二十九分大倶石川工專のキックの球を取り巧みにダズルして藤田にパス藤田長驅四十碼右から廻り込んでポスト直下にトライ(三點)ゴール成らず其後工專FWドリブルに攻め入つた時タイムアップとなる

		工專	大倶
FW		宅山川田田林瀨出山倉島田	口岡田咲井田原井野北内木臼
HB		龍三	前北
TB		横田前横中高吉牛小	酒桂齋新有石藤村
FB		宮	上

寄笛 未だ寄り合世帶の域を脱し得ない大倶の敗北は致し方ないとして今日の工專の戰ひ振も決して上出來とは言ひ得ないであらう▲大倶のあの驕いFBをなぜもつと働かなかつたか大倶のサードロー[illegible]がオフサイド氣味にまで前に出てハーフの球をつぶしてゐた時にも球のキープを忘れたのはエイトシステムを臺無しにしたものではあるまいか▲工專のTB線殊に藤島、岩田は實に上手かつたがハーフ線との連絡に今一層の努力を要する▲大倶では本日の船で着いた許りの桂を始め有田、石川、北原の老巧連が活躍をした▲リーグ戰での何なり重要なゲームである今日の一戰が可なり騷がしく三四のプレヤー等もプレー以外の事を口に出して騷いでゐた事はラグビーの神聖のために切に反省を促してやまぬ

天岡氏の署名 變更を申出づ
授勳者連が當局へ

【東京二十八日發電】勳章疑獄事件は法の決定を見ねば眞疑を知り得ぬが天岡總裁時代の授勳者側にはその勳記に天岡氏の署名あるを非常に忌み何とかその署名の變更を當局に申出でる向きも多いが、萬一天岡氏の罪狀決定の時と雖も從來の勳記、徽章等の署名變更は如何ともし得ないところなるも一方全く勳章の尊嚴を傷けるものであるため將來に向つてこの憂ひを無くすべく當局ではその方面の議が起つてゐる

副將 福田 ○副將 二段 藤塚
○大將 佐分利 同 藤塚
同 佐分利 × 大將 同 牛山

四時半戰ひは終り櫻井幹事の挨拶あつて試合は閉ぢた、尚幼年組は大熊君拔群に付きメダルを授與された

大分縣下に 競馬疑獄
縣會議員檢擧

【大分廿九日發電】大分檢事局では數日來縣刑事課と密議を重ねてゐたが右は宇佐神宮神苑に於ける公認競馬問題に絡まる疑獄事件にて今朝政友派縣會議員江藤忠藏氏が別莊に潜伏せるを檢擧收容疾風迅雷的活動を開始した當地方としては重大事件として各方面の注目を集めてゐる

都城女子師範 移轉問題再燃

【宮崎二十九日發電】都城女子師範學校移轉問題の中心人物として睨まれてゐた森迫前市長、松江縣會議員、井目都城市會副議長は今朝警察署に召喚取り調べを受けた

大連道場の 紅白試合
柔道二段以下

昨二十九日午後一時より大連道場に於て幼年組及び二段以下の紅白試合が山田六段その他の審判の下に行はれたがその内一級以上の成績左の如し

紅		白
一級 森谷		○一級 田中
初段 日野	×	同 田中
○二段 春名		一級 今井
同 春名		初段 井崎

昭和電力社長 恐喝で起訴
中島以下三名

【東京廿八日發電】昭和電力事件に絡んで增田同社々長を恐喝七萬圓を卷上げた嫌疑の下に警視廳で取調られてゐた中島偶吉、猪熊行春、岡村正雄は、二十八日午前十時半檢事局に送られ中島檢事の取調を受けたが、直に恐喝罪として起訴夕刻市ヶ谷刑務所に收容された

下村久子孃 女子百米自由
豫選で一着

【東京廿八日發電】神宮水上競技で滿洲下村久子は女子百米自由豫選にてタイム一分二十四秒二でA組の一着となつた

三木選手優勝

【ウインブルトン二十八日發電】當地に開催せられたるテニス選手權競技會の本日の決勝に於て日本三木選手は左のスコアーにてイギリス選手ゼー、エッチ、フラウエン大尉に勝つた

三木 { 六—二、六—六、四—六、七—五 } フラウエン

尚唯決勝にて太田選手は肩の筋を痛め出場不能となつた

見物押寄せ 競馬賑ふ
廿八日の成績

臨時競馬第五日目の二十八日午後は烈風にも拘らず觀衆續々と押寄せ熱心振りを見せたが、大した番狂はせもなく五時半終了した、午後の勝馬及び配當左の如し尚當日の總賣揚高三萬九千七百十一圓

▲第五競馬(聯賀速歩)三千二百米第一着博多(二分二十八秒二)第二着金丸(九馬身)第三着羅自王配當四圓四十錢
▲第六競馬(各抽)二千米第一着華王(二分四十九秒三)第二着東(三馬身)第三着伊吹配當十九圓四十錢
▲第七競馬(各抽)千八百米第一着冠(二分三十三秒四)第二着矢走(四馬身)第三着勝桝配當五圓八十錢
▲第八競馬(各抽)千六百米第一着藤(二分廿三秒三)第二着萩(一馬身)第三着日高配當三圓五十錢
▲第九競馬(秋抽)千八百米第一着東天(二分四十秒一)第二着鳳嵐(一馬身)第三着洲須野配當六圓八十錢
▲第十競馬(秋抽)千六百米第一着張飛(二分二十一秒三)第二着保津(八馬身)第三着漣配當四圓二十錢
▲第十一競馬(各抽)二千米第一着興(二分四十六秒三)第二着若松(八馬身)第三着扇城配當四圓
▲第十二競馬(秋抽)千八百米第一着豐年(二分四十二秒一)第二着鞍山(一馬身)第三着千早配當十四圓二十錢
▲第十三競馬(秋抽)千六百米第一着凱喜(二分二十四秒一)第二着美勝(半馬身)第三着白龍配當八圓六十錢
▲第十四競馬(各抽)千六百米第一着千鳥(二分二十一秒三)第二着乙姬第三着彪配當三圓四十錢

燕と駈け落ち
埠頭で捉まる

神奈川縣川崎市在住の若槻フミ子(二九)は銀行預金八百圓、郵便貯金五百圓を拐帶十も年下の若槻博(二〇)を同伴二十九日午前入港のはるぴん丸に夫婦と稱して戀の道行きを極め込んでゐたのを豫て横濱警察署よりの打電により手配中の水上署員の手に發見取押へられた

日滿連絡下り機

二十八日下り旅客機は午後二時廿五分周水子着乘客なし

けふのラヂオ

昭和四年九月三十日(月曜日)
自午前十一時 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)
自午後零時三十分 相場(特産、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、露語講座 第十九課、大連語學校、グローストン
三、講話 遷宮御木曳の話、伊勢の人、結城實之助
四、修養講話 金解禁と魂の解禁 基督教青年會總主事、中川竹太郎
五、長唄 秋の色種、唄牧初太郎 三味線吉田石子、上[illegible]
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

滿日地方版

長春

八名の候補者所信を披瀝

立會演說會の盛況

青年聯盟長春支部主催地委候補立會演說會は廿七日午後七時から演藝館に於て開催した、時節柄聽衆は堂に滿つる盛況さであつた、出席候補者八名、先づ上野幹事の開會の辭、後藤幹事の缺席者の缺席理由報告あつて齋藤嘯治君登壇交通機關と土地繁榮策並びに貿易振興との相關々係を述べ鐵道と地方利害とを更に接近させる要ありと結ぶ

赤羽一二君 自分は元來訥辯であるから不言實行でゆく誠意丈けを買つて貰ひたいと簡單な挨拶

山下藤藏君 自分は二十年長春に居るが社會的に何事も爲さなかつた、又本年春以來重患を煩ひ到底恢復の見込なしと信じてゐたが偶然にも一命を助けられたので報恩の爲め余生を社會の公僕として捧げると述べ

磯崎仙英君 滿洲は自治とは名のみで全く骨拔きとなつてゐる、小骨の殘つてゐる朝鮮にも劣る、地方委員會は更に改善してもつと民意に副ふやうにすべきであると述べ

張汝翰君 私は在滿鮮人百五十萬の救濟を唯一の使命として地方委員に出た、朝鮮總督府は在滿鮮人救濟と稱して年々百五十萬圓を計上してゐるが大部分は情報費に費されてゐる、外務省の方針亦不徹底にて實績を擧げてゐない今日滿鐵にしがみつくより外に道なしと信じて過去二ヶ年間努力したが、充分の效果がないので再出馬した

加藤金保君 地方委員會の提案を見るに常に涙としてゐる、表看板許りでなくもつと內容がほしい

得丸助太郎君 地方委員會改善については意見もあるが然し地方委員會を地方事務所長の單なる諮問機關なりと斷ずるは誤りであると地委無用論に一擊を加へ叩頭政策や御馳走政策を罵倒

宇野常吉君 長春繁榮策のため誠心誠意努力すると簡單に述べて降壇

右終つて有權者の一人藤田藤助君が種々希望を述べ、最後に權島幹事閉會の辭を述べ午後十時散解

領事の更迭期

長春領事の更迭は後任田代領事の赴任が遲れるので十一月上旬行はれると

町の便り

員大檢擧の際奉天に於て逮捕された市內紅梅町七溪醫員習ひ蘇振九(二二)その後奉天署に於て嚴重なる取調べを受けてゐたが、大體の取調べを了したので廿七日支那側に引渡した

◇

奉天圖書館では十月一日から十日まで曝晒書並に點檢のため休館する由

◇

當地商工會議所主催朝鮮博觀光團は目下募集中であるが、出發は十月十一日午後の急行で京城に二泊の豫定である會費卅四圓、申込締切七日限とし會員外でも差支ないと

◇

滿鐵消費組合では社員會の申込により態度決定のため近く總代會を開く事となつたが之に先立ち各組合員の意見聽取中である

◇

地方事務所では十月一日行はれる地方委員選擧の立會人として宮村順一、峰間翁、木下亮九郎、上田統の四氏に決定した

◇

市內稻延町十一番地高橋廣造妻みよし(四二)は廿七日午前十一時頃現金八十圓を携帶し家出した

人事

▲保々滿鐵地方部長 廿八日朝來奉ヤマトホテル
▲山崎代議士 廿八日大連より來奉
▲石本滿鐵情報課長 廿八日朝奉
▲萬洮鐵路局長 廿八日急行にて來奉
▲足立同顧問 同上
▲宇佐美鐵道部長母堂 廿八日來奉歸連
▲田原外務省書記官 廿八日安奉線急行にて五龍背へ
▲鎌田元公所長 廿八日大連へ

奉天

遷宮祭遙拜式と御慶事奉祝方法

廿六日協議會で決定

廿六日午後二時から地方事務所に山內神職、上田區長代、樋口民會理事等參集し神宮式年遷宮祭に關し打合せをなし、更に皇后陛下御慶事の奉祝に關する準備協議會を開き左の如く決定した

▲遙拜式に關する注意事項

一、遙拜式奉行日時 十月二日午後七時(皇大神宮遷御)同五日午後七時(豐受大神宮遷御)

二、遙拜式參拜方市民に對する周知方法 遙拜式奉行委員長林久治郎の名を以て參拜方當地各新聞にて報告す

三、國旗揭揚 兩日共各戶國旗を揭揚すること

四、遙拜式場設備 奉天神社境內に盛砂その他必要なる設備をなすこと

▲御慶事奉祝に關する準備會議決定事項

一、市民に對する周知方法 地方事務所並に居留民會は官憲側並に新聞通信社側と聯絡をとり御慶事を知りたる時は直に左記の手配をなす事

(イ)電話通知 地方事務所より附屬各區長へ各區長は更に各町內會長へ居留民會より民會側各區長へ、(ロ)煙火打揚 打揚場所中央廣場、打揚數親王にあらせらるゝ時は三發內親王にあらせらるゝ時は二發、(ハ)爆竹打揚 打揚場所各派出所打揚數(ロ)に同じ

二、國旗揭揚 市民御慶事を知りたる時は各戶直に國旗を揭揚すること揭揚期間は當日、但し御慶事夜間の時はその翌日

三、賀詞言上 總領事官民を代表して賀詞を言上すること

四、奉天神社における奉告祭 午前十時執行、市民參拜のこと

以上の外御命名式の擧げさせらるゝを俟ち更に奉祝方法に關し協議をすることになつた

共產黨員引渡

本月一日撫順を中心とする共產黨…

哈爾賓

西比利に在る支那人の窮狀

乾干になる者が多い

ハバロフスク、ブラゴエ其他の都市村落で働いてゐた支那人勞働者が黑河を經てハルビンに避難し來り行政長官公署を訪ねて壓迫されてゐる支那人の窮狀を訴へ出た、其れによるとハバロフスク市一帶の支那人は約二千名ばかり拘禁され下級勞働に從事してゐるが、一日パンは一フント二分の一にスープは鹽けもない水ぽいもの、何しろ二千名のものにスープの材料が瘦せコケた牛の頭が四ツ、これに水を增して煮つめたもので脂肪分なんかは見ることはできない、其れにパンの中には雜草が混つてあつて喰へたものではない、大抵のものは病氣に罹つて乾干になる、これで多が來れば營養分の缺乏で死亡者が多からうと、沿海州方面ではソウエート其れ自體が食糧難に惱まされてゐるのだから捕虜と考へてゐる支那人によい待遇が與へられると想ふのが間違ひだとの話

義勇軍歡迎會

廿六日午前十時から全哈學生聯合會の主催で新市街公共禮場で馮大學義勇軍の大歡迎會を開催したが多數の演說あり學生聯合軍側代表の謝辭に散會したが、午後は傅家甸に於て外交協會の歡迎會あり民衆的自營の熱を沸騰せしめた

營口

支那人側から突如立候補

運動漸く猛烈の地委選擧戰

大番狂せを演ぜんか

一般に氣乘しなかつた地方委員選擧も時日の切迫と共に急に敵名の立候補を見るに至り運動も漸次激甚を加へ來つたが特に今まで一回も立候補しなかつた支那人側からも機運の釀成に驅られて出馬を言し、日昌棧執事馬子明氏が居住支那人に推されて立候補するに至つたので、今まで支那人方面に喰ひ込み當選確實と認めて枕を高ふして居た邦人候補者も之が爲に地盤を根柢から覆へされ、大騷ぎを演じて居るが若し支那人側が一致結束して馬子明に投票するに至らば大番狂はせを見るに至るべしとて各運動員は何れも必死となつて警戒線を固めて居る

鄭事務官來營

全滿在住朝鮮人の狀況調査の爲來滿中の鄭朝鮮總督府事務官は田附總督府書記と共に二十六日より端午したが鐵工は十一月十日頃なるべしと…

營口雜聞

鞍山

鞍山を中心に秋季大演習

獨立守備隊および通信隊が

來る十月上旬ごろ

本年度第十六師團管下の師團通信隊演習及獨立守備隊の聯合演習は十月上旬鞍山附近に於て擧行されるが統監部は近江屋旅館であつて通信隊は扇屋旅館及紅葉館に決定し、參加兵員は將校以下八十二名である、獨立守備隊は四日より十四日まで十一日間鞍山を中心として秋季大演習を擧行さるべく參加兵員は將校以下一千九百餘名にて四百六十餘頭を有し鞍山驛集合社宅を使用することに決定した

遷宮式の遙拜

十月二日は皇大神宮遷御當日につき鞍山神社に於て午後七時より…

志村局長送別

二日扇屋旅館で

年遷宮遙拜式を擧行の筈

鞍山郵便局長志村重二氏は既報の如く副事務官に榮進し勇退の上近く赴任するので十月二日午後六時より敷島町扇屋旅館に於て送別宴を催すと有志の方は三十日午後四時までに左記に申込れたしと

製鐵所事務所庶務課庶務係(社三番地)方事務所庶務係(社九三、公一五四)商業協會(公二九)

笑和會の送別

鞍山笑和會では志村郵便局長の送別會を三十日午後六時三十分鐵嶺館に於て例會を催…

鐵嶺

身柄全部を支那側に引渡す

暴行した公安局員

日支衝突事件の關係者として憲兵隊に拘引留置されたる者三十六名のうち既に十四名は放還せられ殘る二十二名に對しては引續き取調中であつたが、支那側からは頻りに身柄引渡しを懇請して來る爲め遂に兵隊でも二十八日一先づ取調べを打切り午後二十二名全部を…

忠魂碑移轉

愈工事に着手

旭公園忠魂碑移轉工事は九月十三日附を以て其筋の認可ありたるにつき愈々該工事に着手することとなり廣岡勘一氏が工費一千三百六十九圓七十錢にて請負ひ同工事…

遷宮祭と御慶事奉祝の方法

撫順

時候はづれに狂ひ出した

—男と女のキ印—

二十七日午後二時頃嚴重たる手錠をはめられた一怪漢が西公園下を南臺町方面へ韋馱天の如く疾走しつゝあるのを認めた通行人や警官が「すはこそ重大犯人の逃走?」と自轉車その他で追跡漸く逮捕し取調べて見ると西七條通五十番地石炭輸送業山本政雄こと弟山本七郎(二〇)と言ふキ印で假留置場なら飛び出したと判明、實兄を呼び出し引渡したが、この狂人は二十八日の午後驛前牛頭亭にも…

次は二十八日午前十時頃の撫順公會堂で…

增設中隊事務所

國防思想映畫

大連實業對撫順滿俱

本年最終の野球戰開始

猩々女が自殺の眞似

男心を試すため

安東

守備新兵檢閱

廿七日實施さる

金剛山見物團

來る三日出發

芝崎氏令嬢訃

安義雜聞

愛慾の窓 (115)

戶川貞雄 作

淺枝次朗 畫

結婚(一四)

「それよりも、それよりも、貝在…」

龍吉の手には、ギスギスと青く光る匕首が握られてゐた。

「……草野さん！あんたも龍吉の根性骨に知つてゐる筈だ！」

彼は呻くやうな聲で云つた。絕望的なひゞきの籠つた聲だつた。

「……危い！龍吉君！僕の惡い事はどんなにでもしてあやまるよ！だから君もそんなに自暴になないで……」

久彥は喘いだ。

…

滿日文藝

滿日俳壇

島田青峰 選

月

新刊紹介